© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

きれいにしよう日本の空を

日本空調サービス株式会社

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

2026年3月期 2Q(4-9月)
決算説明会

2025年11月

東証プライム・名証プレミア：4658

会社概要

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

会社概要	
会社名	日本空調サービス株式会社
証券コード	4658
事業内容	総合建物設備 メンテナンスサービス業
本社	愛知県名古屋市 名東区照が丘239-2
発行済株式数	35,784,000株
株主数	28,596名

1964年4月

名古屋市中村区東宿町（ひがしじゅくちょう）に設立

数字で見る日本空調サービス

資本金
1,139百万円

売上高
連結644億円

拠点数
国内47都道府県
89拠点
海外6カ国
10拠点

メンテナンス売上高割合
61.8%

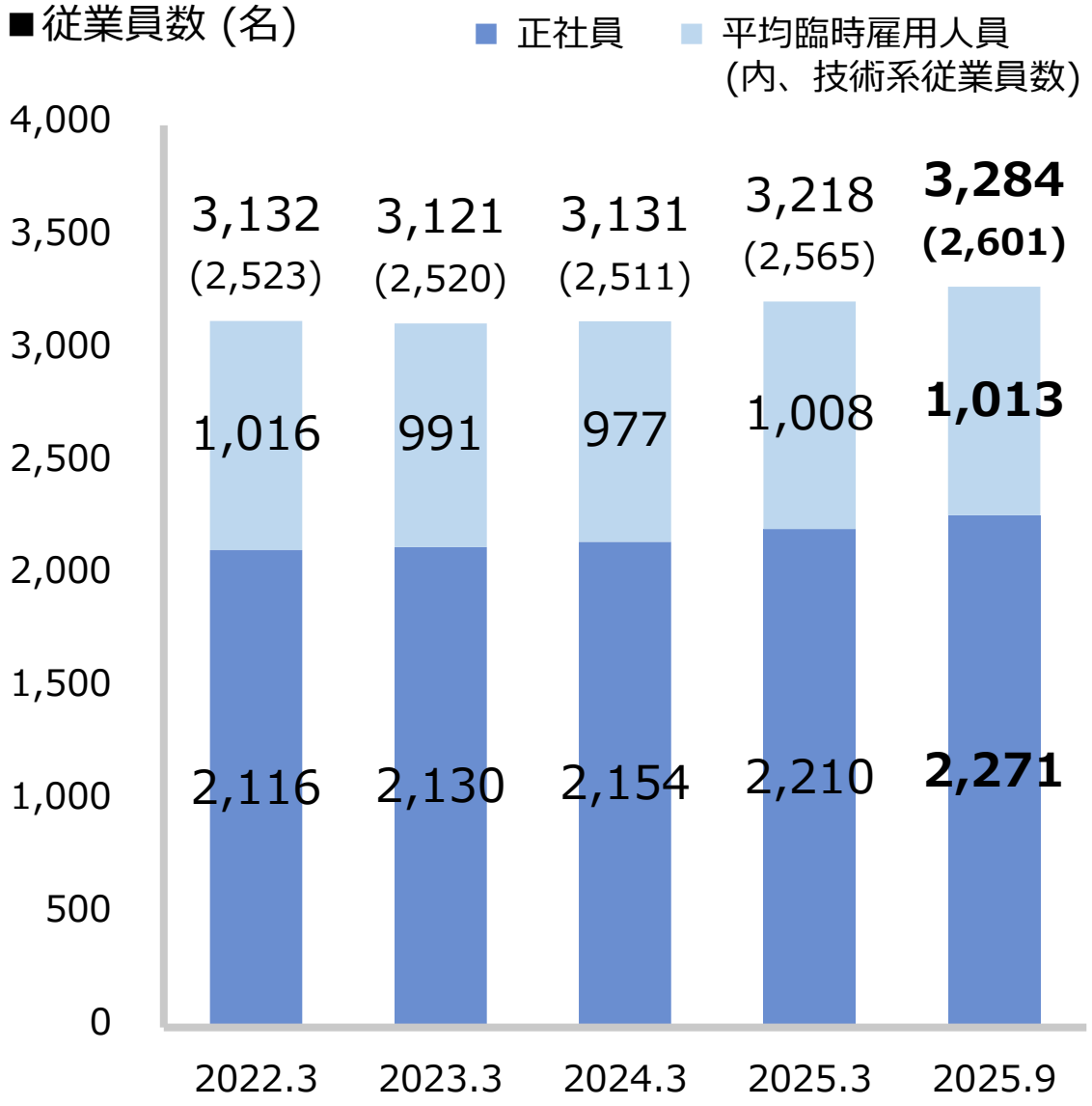
従業員数
連結3,284名
（内、技術系2,601名）

※従業員数・発行済株式数・株主数は2025年9月末時点、売上高・メンテナンス売上高割合は2025年3月期実績、拠点数(住所ベース)は2025年10月31日時点。
※2023年3月期において連結子会社であったNACS BD Co., Ltd.は重要性が低下したため、2024年3月期以降は連結の範囲から除外。

従業員数

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■従業員数 (名)



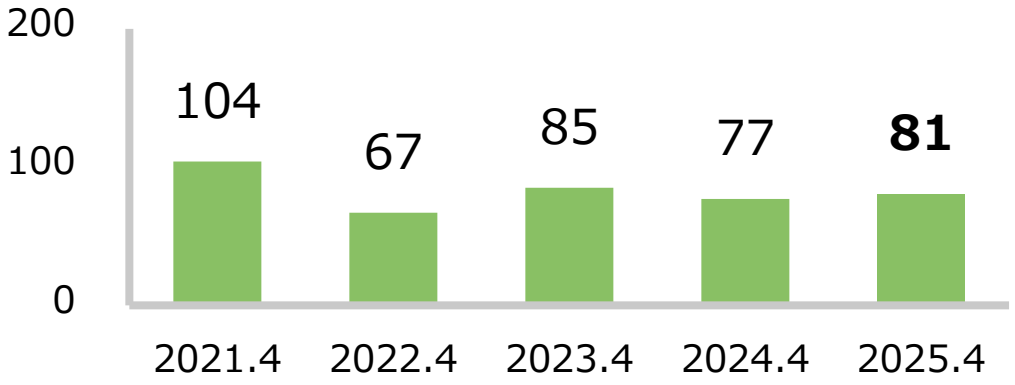
約8割が技術系従業員
技術の会社

▼

技術力向上の仕組み

- 体系的教育カリキュラム
- 昇格と公的資格のリンク
- インストラクター制度 等

■新卒採用人数 (名)



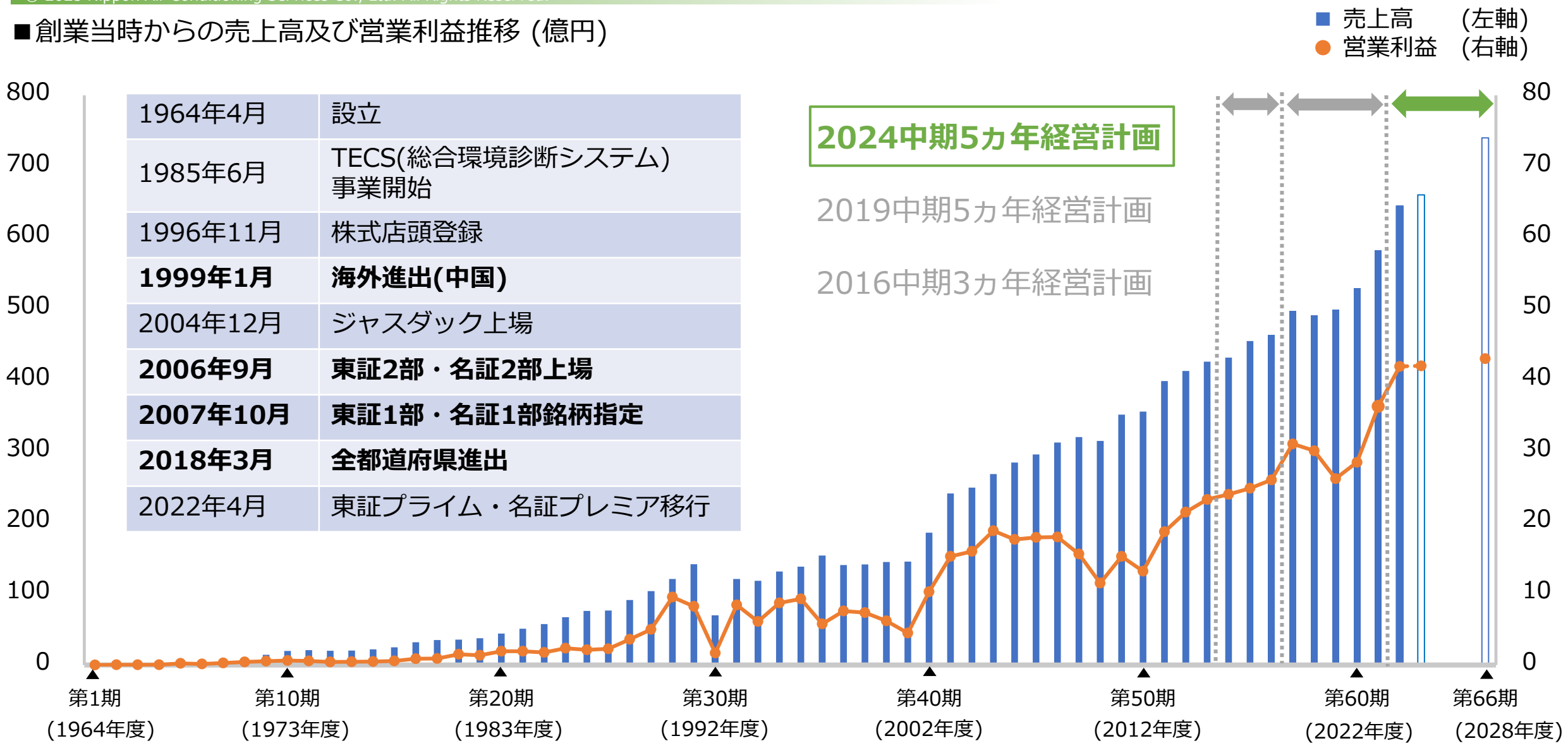
※2021.4～2025.4 新卒平均採用人数 82.8名

創業からの歴史

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■創業当時からの売上高及び営業利益推移 (億円)

1964年4月	設立
1985年6月	TECS(総合環境診断システム)事業開始
1996年11月	株式店頭登録
1999年1月	**海外進出(中国)**
2004年12月	ジャスダック上場
2006年9月	**東証2部・名証2部上場**
2007年10月	**東証1部・名証1部銘柄指定**
2018年3月	**全都道府県進出**
2022年4月	東証プライム・名証プレミア移行



※第6期(1969年度)及び第30期(1992年度)は6ヵ月の変則決算。

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

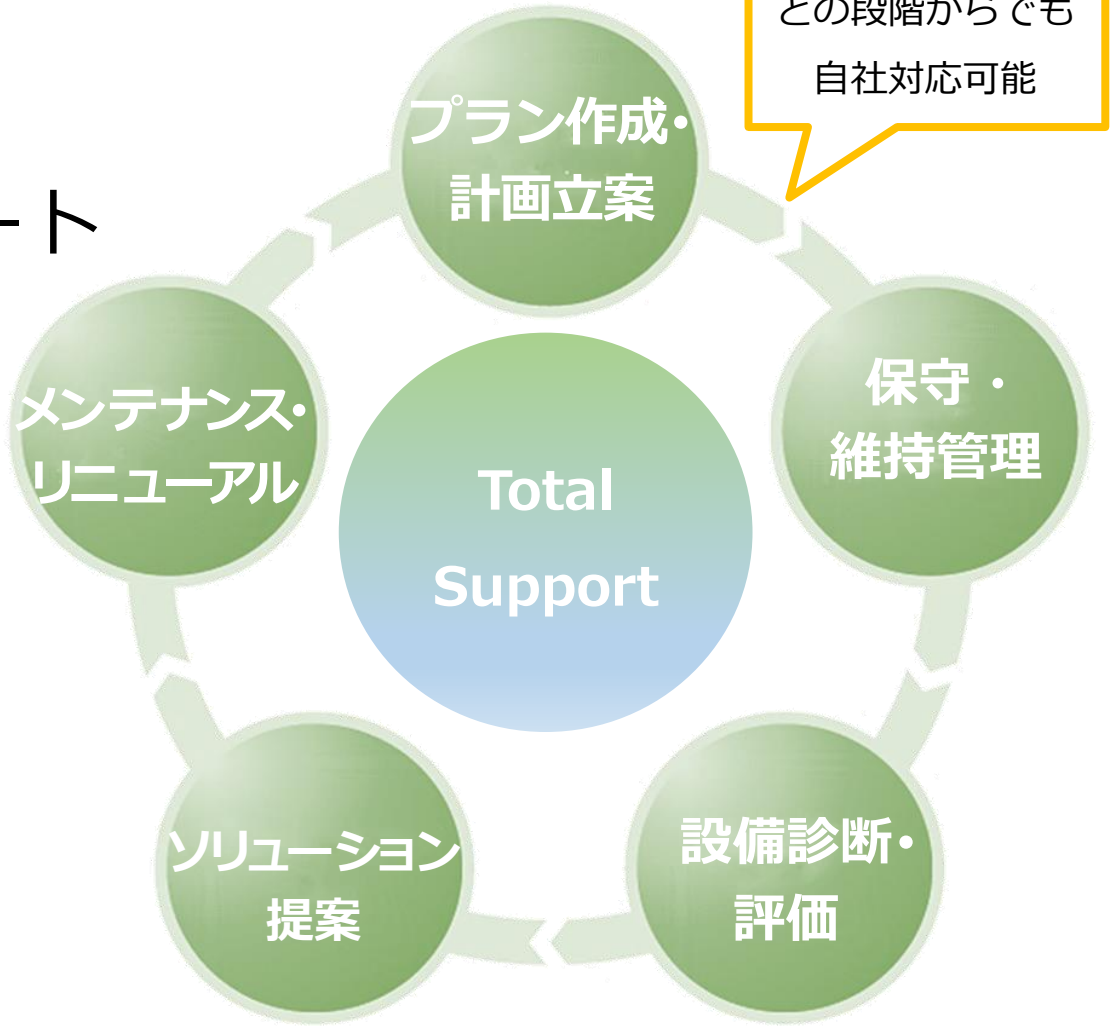
■事業概要

建物設備のメンテナンス・維持管理、設備・環境診断、ソリューション提案、リニューアル工事によるトータルサポート

✓同業他社とは一線を画す特長

①高度な技術力
②ソリューション提案
③トータルサポート

維持管理サイクルの
どの段階からでも
自社対応可能



事業部門

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業部門	概要	売上高構成
PM Preventive Maintenance	お客様の施設に赴き、空調を中心とした建物の設備システム全般に対する点検・整備・修理・交換等を行う	35%
FM Facility Management	お客様の施設に常駐し、メンテナンスサービスと日常の維持管理を合理的に組み合わせた統括マネジメントを行う	29%
RAC Reform and Construction	空調設備や給排水衛生設備等の既設設備に対するリニューアル工事を中心に行う	36%

※売上高構成は2026年3月期2Q実績。

Contents

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅰ．2026年3月期2Q 決算の概要　p.06-p.19

Ⅱ．2024中期5ヵ年経営計画　p.20-p.27

Ⅲ．株主還元　p.28-p.31

Ⅳ．補足資料　p.32-p.42

Ⅰ．2026年3月期業績予想

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

不安定な国際情勢や物価上昇等が続くと予想するものの、省エネや省コスト等に関する潜在ニーズを掘り起こし、増収増益を目指す。

(億円、%)

連結 (累計期間)	2025年3月期(実績)			**2026年3月期(予想)**		
	金額	売上高 比率	対前期 増減率	**金額**	**売上高 比率**	**対前期 増減率**
売上高	644	100.0	+10.7	**660**	**100.0**	**+2.4**
メンテナンスサービス売上高	398	61.8	+8.5	**410**	**62.1**	**+2.9**
リニューアル工事完成工事高	246	38.2	+14.3	**250**	**37.9**	**+1.6**
売上総利益	129	20.1	+18.1	**132**	**20.0**	**+1.9**
販売費及び一般管理費	87.6	13.6	+19.4	**90.0**	**13.6**	**+2.7**
営業利益	41.9	6.5	+15.5	**42.0**	**6.4**	**+0.2**
経常利益	43.7	6.8	+13.2	**44.0**	**6.7**	**+0.6**
親会社株主に帰属する当期純利益	31.0	4.8	+13.8	**31.5**	**4.8**	**+1.5**

※2024年3月期、2025年3月期に続き、正社員の給与水準の引き上げ(2025年4月 平均5.7%)を実施。

Ⅰ．2026年3月期2Q経営成績

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

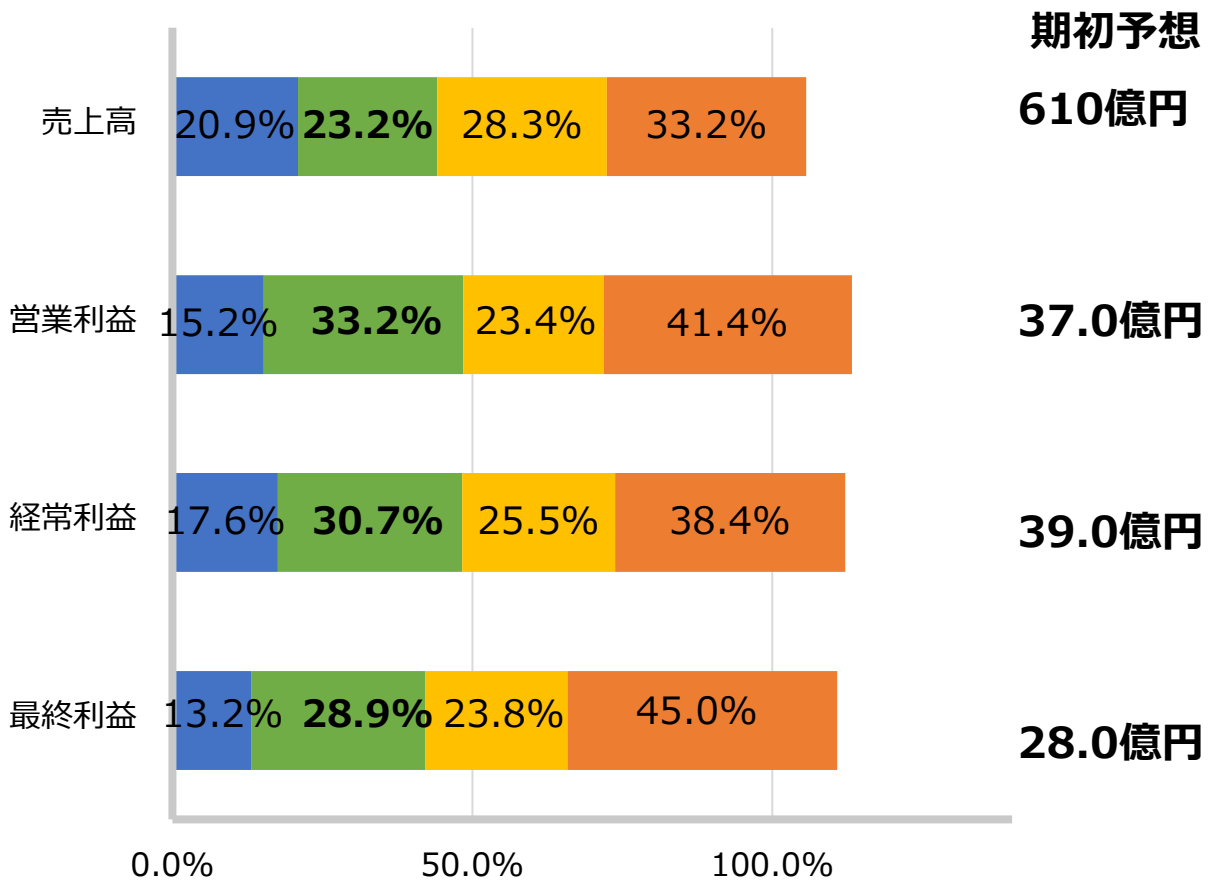
(億円、%)

連結 (累計期間)	2024年3月期2Q			2025年3月期2Q			**2026年3月期2Q**		
	金額	売上高比率	対前年同期増減率	金額	売上高比率	対前年同期増減率	**金額**	**売上高比率**	**対前年同期増減率**
売上高	241	100.0	+10.3	269	100.0	+11.6	**294**	**100.0**	**+9.2**
メンテナンスサービス売上高	170	70.5	+5.5	183	68.2	+7.9	**189**	**64.4**	**+3.0**
リニューアル工事完成工事高	71.0	29.5	+23.8	85.6	31.8	+20.5	**104**	**35.6**	**+22.4**
売上総利益	44.1	18.3	+16.9	54.4	20.2	+23.3	**63.9**	**21.8**	**+17.6**
メンテナンスサービス売上総利益	35.1	20.7	+14.6	40.0	21.8	+13.8	**44.4**	**23.5**	**+10.9**
完成工事総利益	8.9	12.6	+27.1	14.3	16.8	+60.5	**19.5**	**18.7**	**+36.1**
販売費及び一般管理費	32.9	13.6	+6.1	36.5	13.6	+10.9	**40.8**	**13.9**	**+12.0**
営業利益	11.2	4.7	+66.7	17.9	6.7	+59.6	**23.1**	**7.9**	**+28.9**
経常利益	12.7	5.3	+55.6	18.8	7.0	+47.4	**24.5**	**8.4**	**+30.4**
税金等調整前中間純利益	12.7	5.3	+55.7	18.7	7.0	+46.6	**24.5**	**8.3**	**+30.8**
親会社株主に帰属する中間純利益	7.7	3.2	+67.8	11.7	4.4	+51.7	**15.7**	**5.4**	**+34.1**
EPS（円）	22.65	-	+67.5	34.24	-	+51.2	**45.67**	**-**	**+33.4**

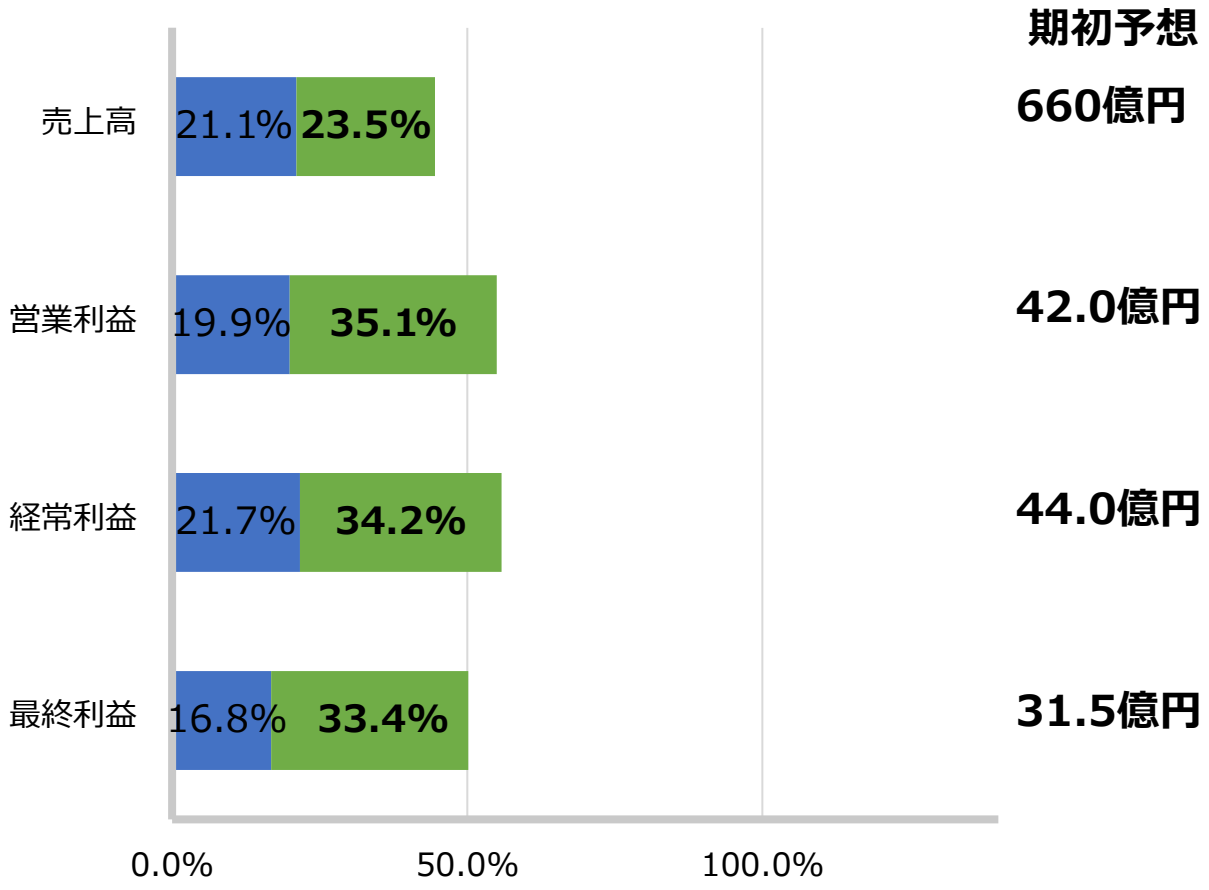
© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

前期に引き続き、競争環境の緩和や採算性の良い案件の獲得、高品質サービスの提供を前提とした適正価格での受注等が奏功し、売上高・利益ともに前期進捗を上回る。

■2025年3月期対予算進捗率



■2026年3月期2Q対予算進捗率



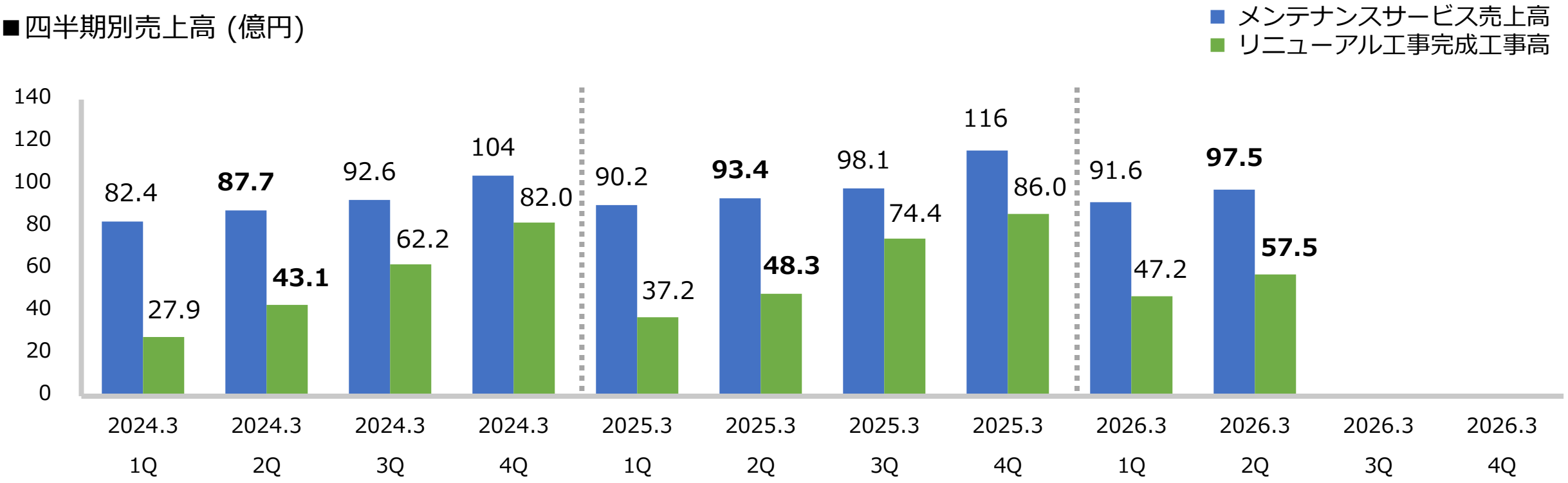
※最終利益は「親会社株主に帰属する当期(中間・四半期)純利益」を指す。

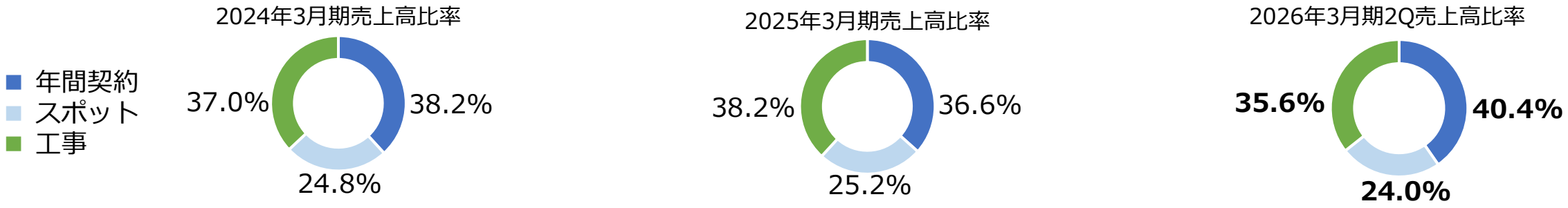
Ⅰ．2026年3月期2Q経営成績

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

売上高は2Qにおいて3期連続過去最高。主力のメンテナンスサービスは、主に製造工場等におけるスポットメンテナンスの増加により、2Qにおいて5期連続で過去最高。リニューアル工事も同施設での案件消化が好調で2Qにおいて2期連続過去最高。

■四半期別売上高 (億円)

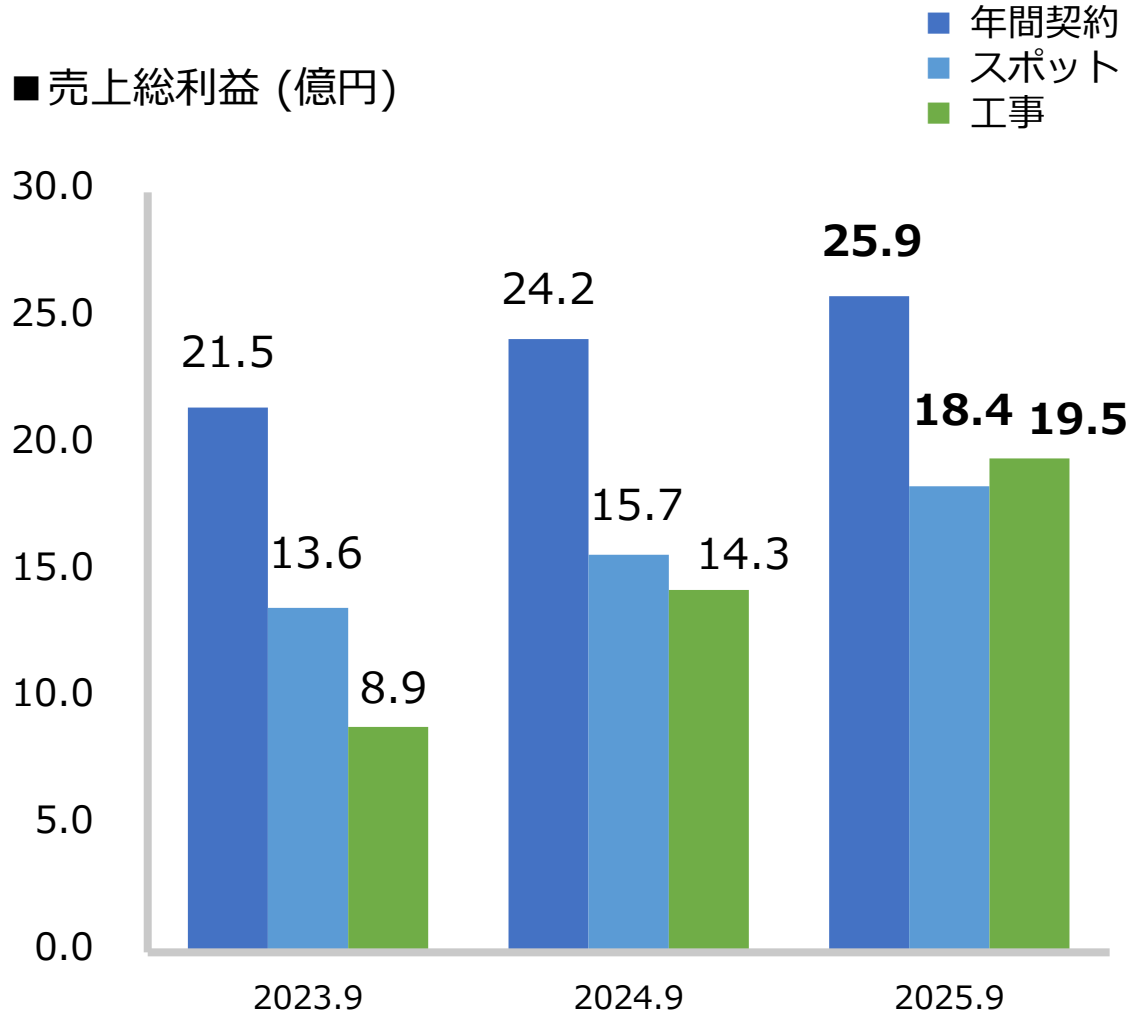




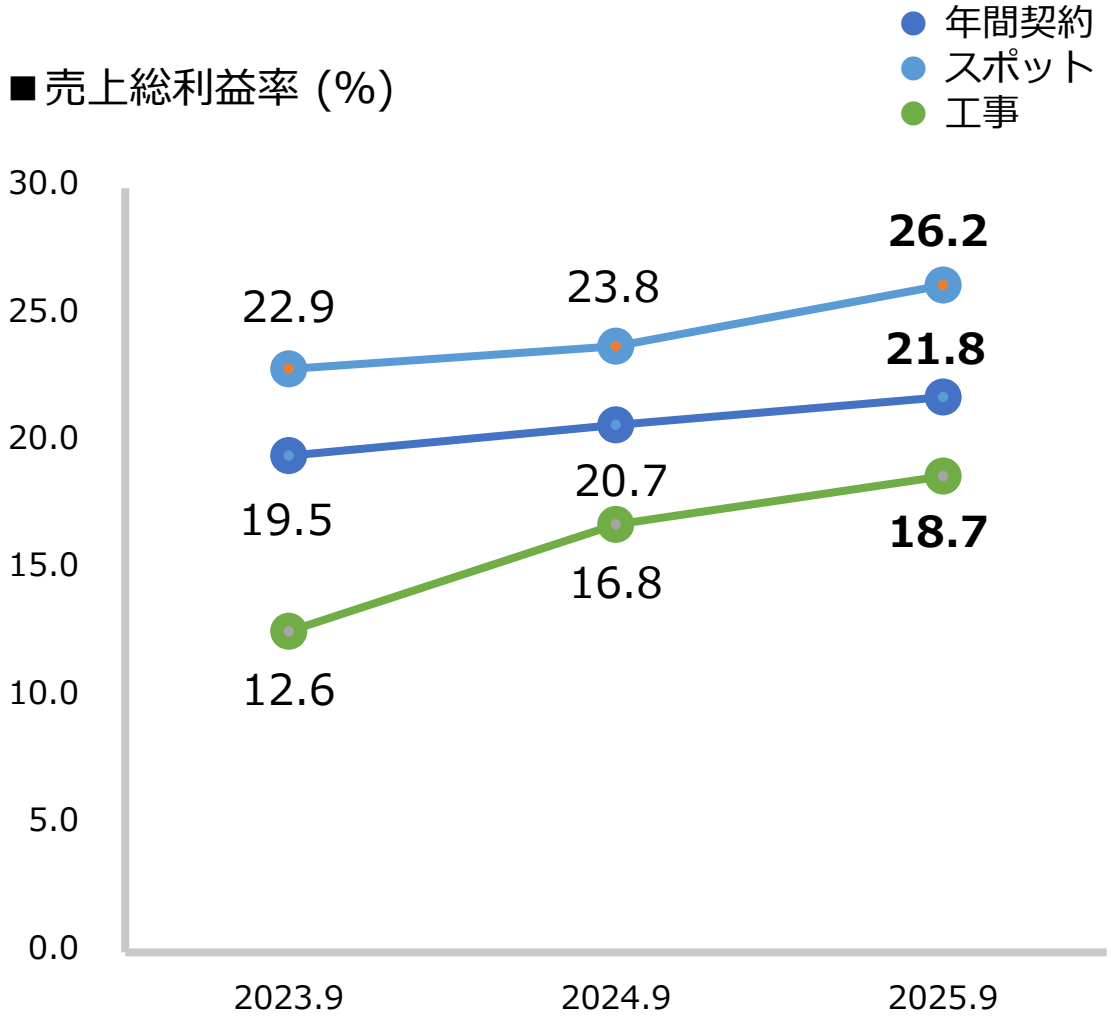
© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

資機材の調達価格や人件費の上昇等による原価の増加を吸収し、年間契約・スポット・工事の全てにおいて利益が拡大した。

■売上総利益 (億円)



■売上総利益率 (%)

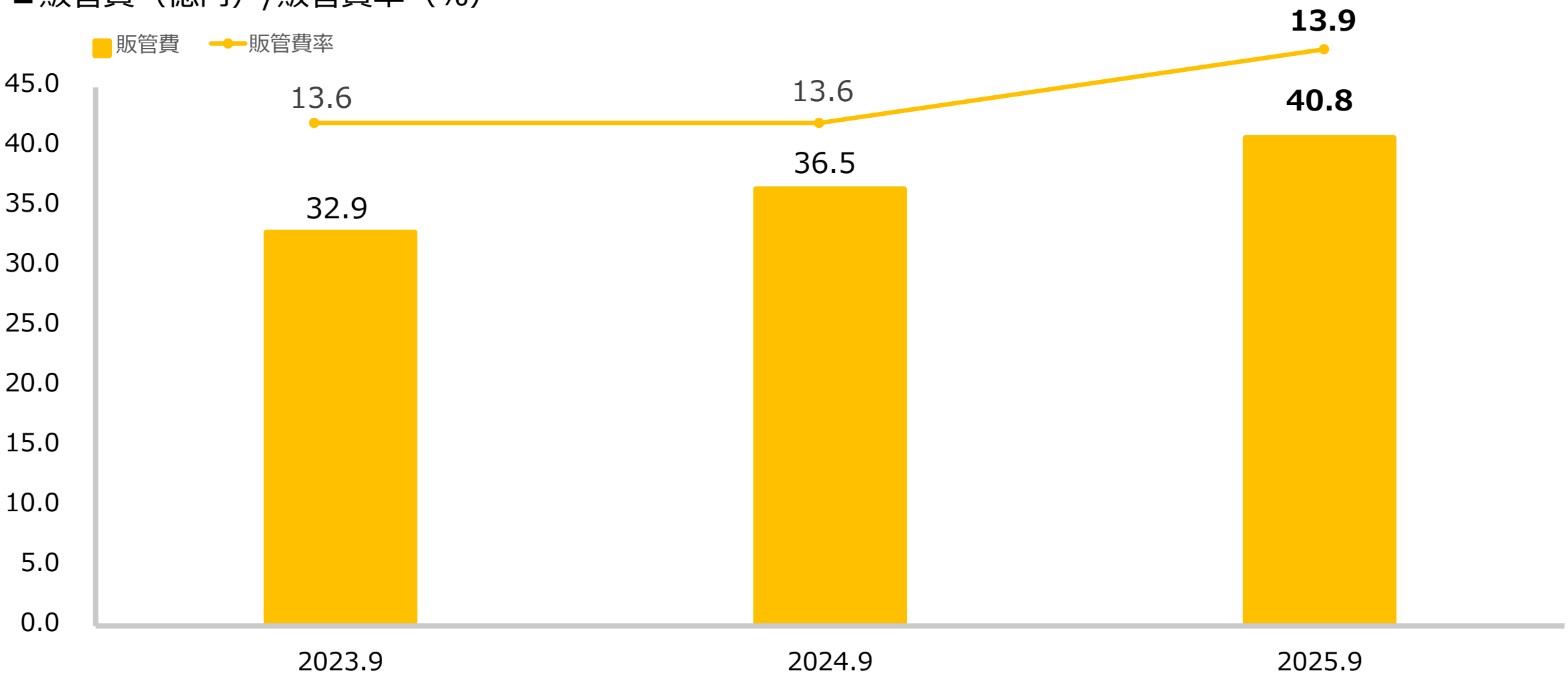


Ⅰ．2026年3月期2Q販管費

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

ベースアップによる人件費の増加や、主に当社の技術・研修センター及び子会社である株式会社日本空調北陸の新社屋に関連する減価償却費の増加により、販管費が増加した。

■販管費（億円）/販管費率（%）

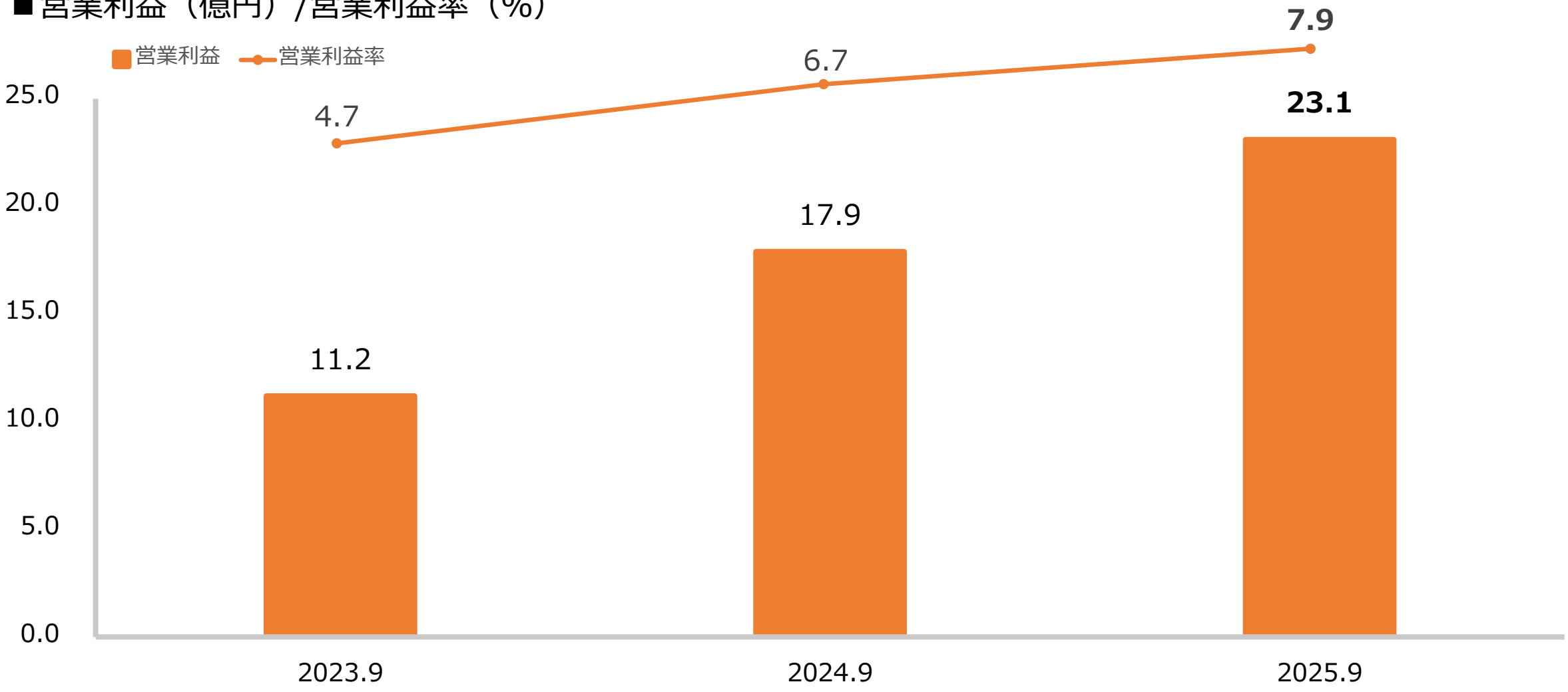


Ⅰ．2026年3月期2Q営業利益

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

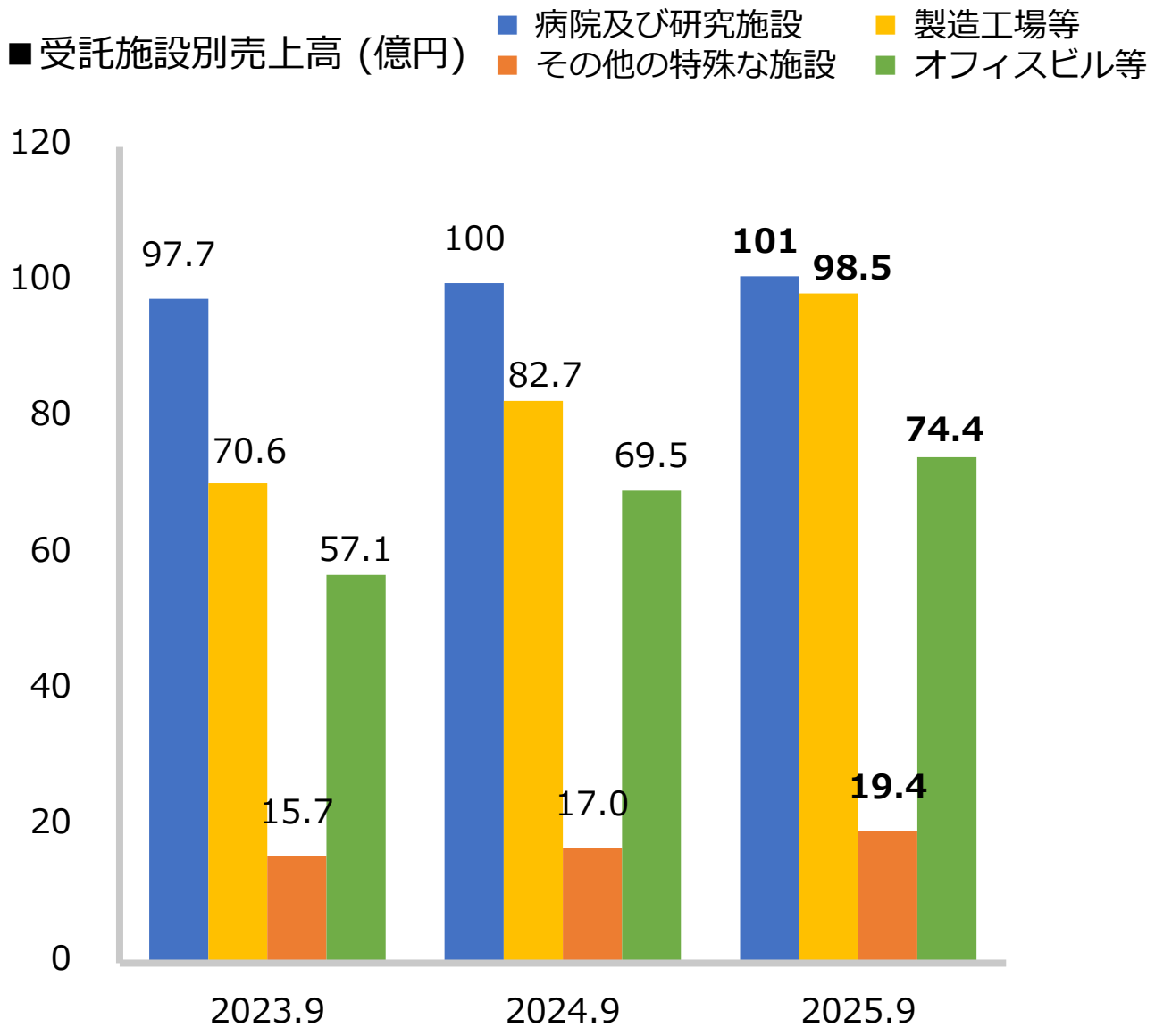
販管費が増加したものの、メンテナンス・リニューアル工事売上高の堅調な増加により、営業利益は額・率ともに前期を上回った。

■営業利益（億円）/営業利益率（%）



© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■受託施設別売上高（億円）



①病院及び研究施設

・メンテ・工事ともに安定的に推移
研究施設での機器設置・更新・改修工事等
大型案件が増加

②製造工場等

・メンテ・工事ともに増加
機器の更新・新設・改修工事等案件が増加

③その他の特殊な施設

・メンテ・工事ともに増加
データセンター関連の修理・整備案件が増加

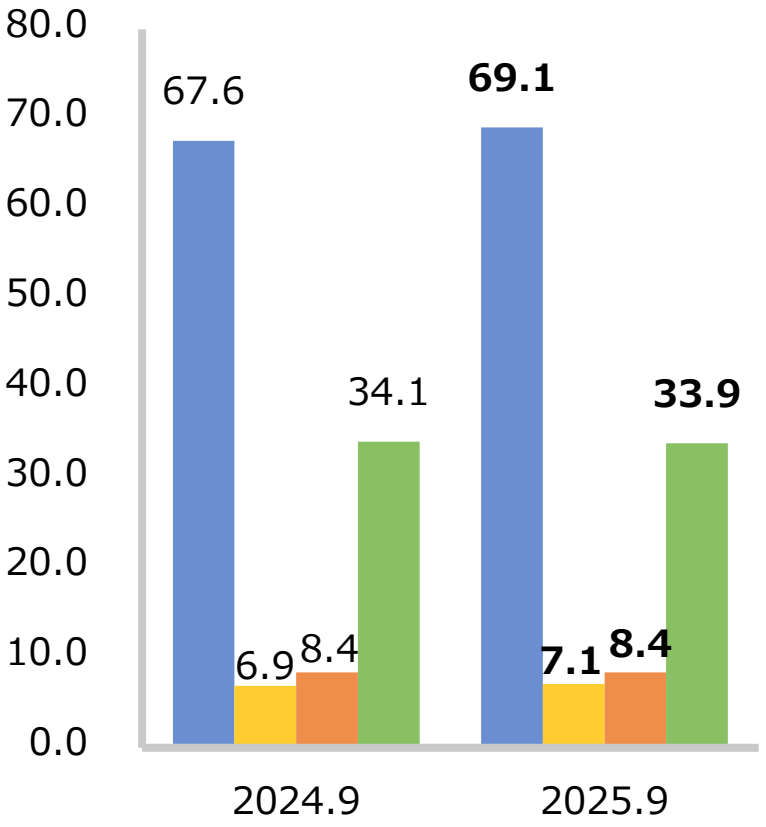
④オフィスビル等

・メンテは安定的に推移し、学校での大型
空調更新工事発生等により工事が増加

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

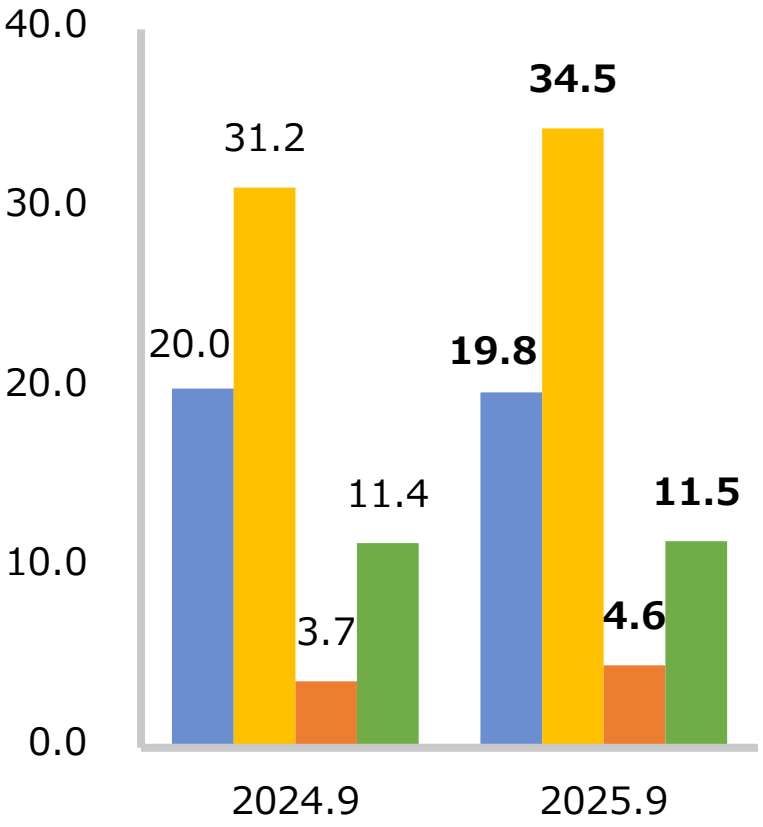
■年間契約売上高 (億円)



受注件数：2,650件　**2,579件**

平均単価：4,336千円　**4,485千円**

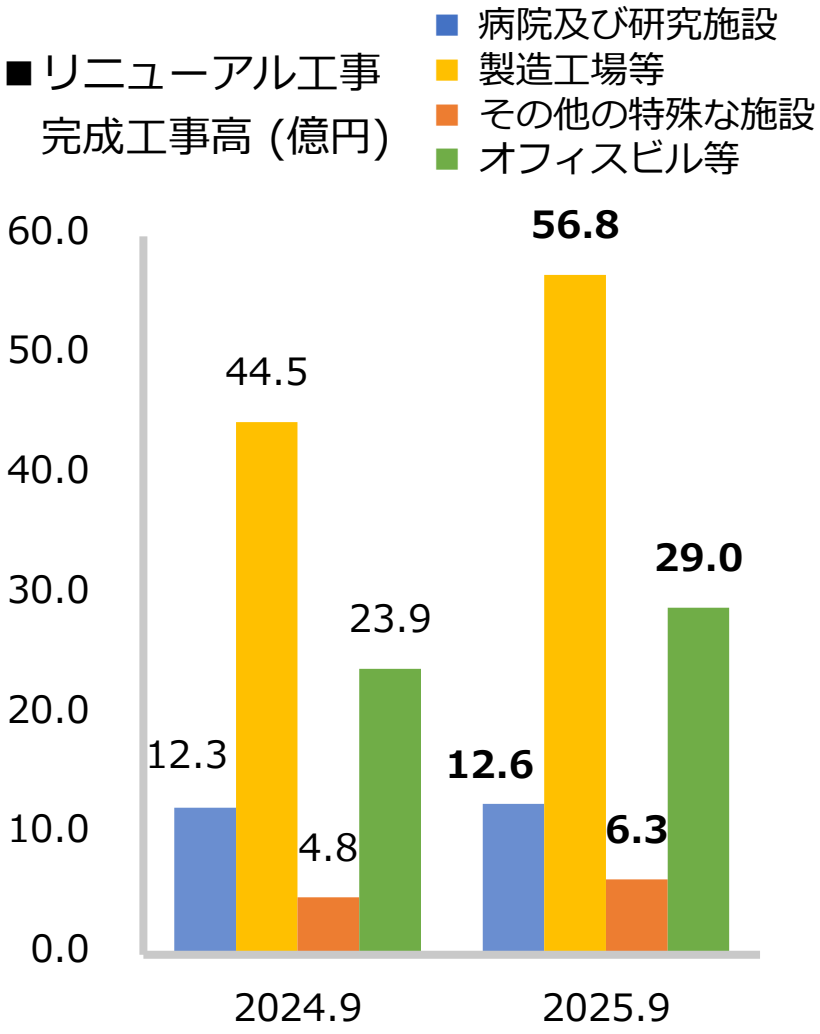
■スポットメンテナンス他
売上高 (億円)



受注件数：18,638件　**18,904件**

平均単価：348千円　**363千円**

■リニューアル工事
完成工事高 (億円)



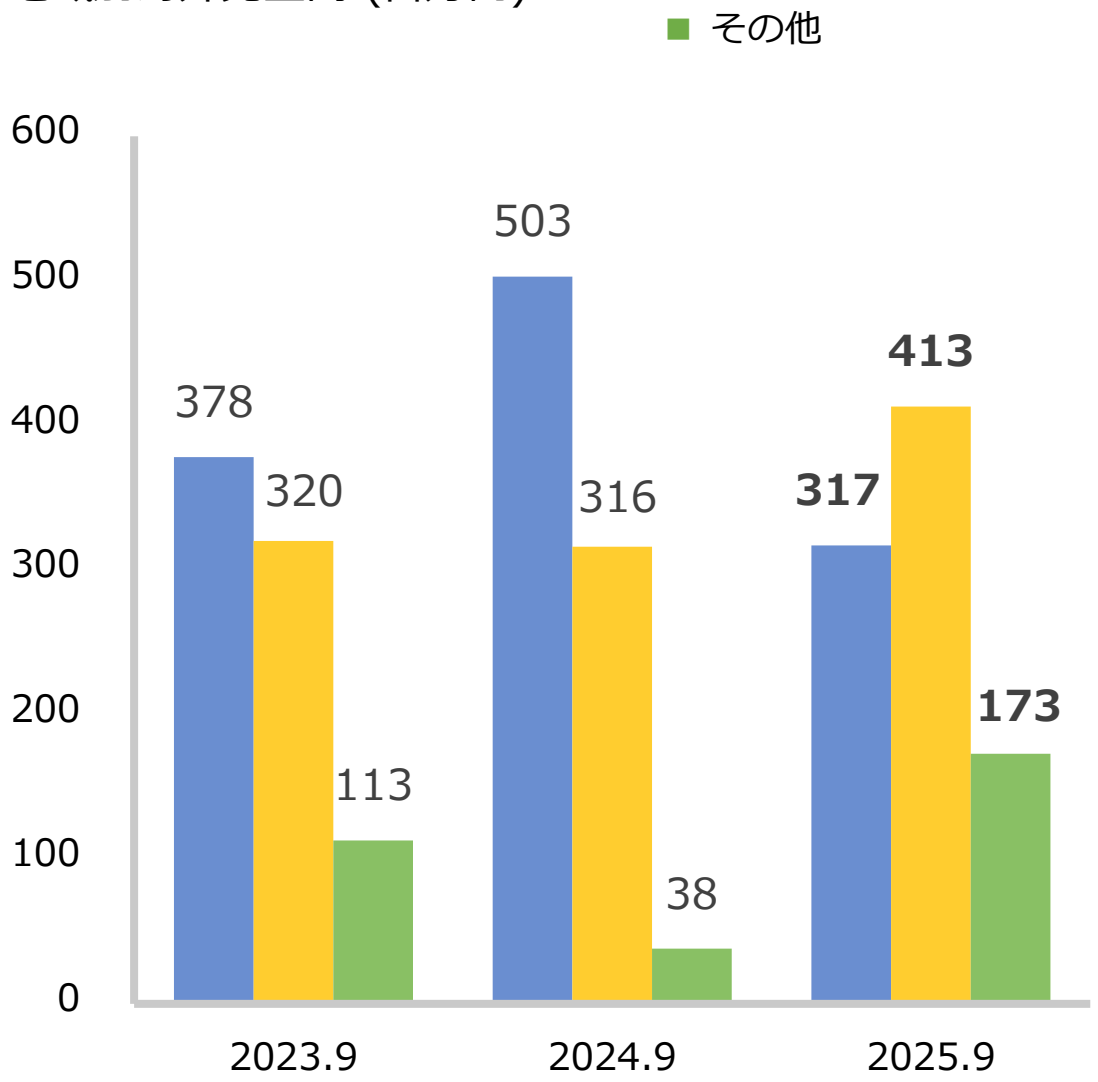
受注件数：2,001件　**2,066件**

平均単価：4,040千円　**4,866千円**

※受注件数・平均単価は国内のみ。

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

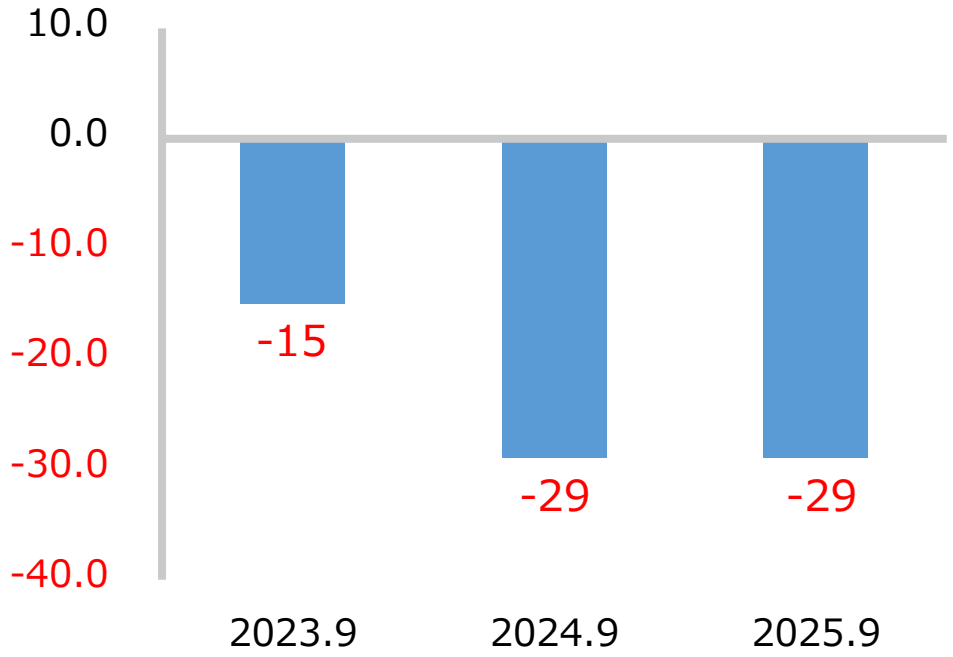
■地域別海外売上高 (百万円)



海外売上高：9.0億円

全体的に保守・メンテは増加した。シンガポール、ベトナムは省エネ対策、環境改善対策工事の受注及び完成が増加した。中国は設備投資の鈍化により、売上高・利益ともに大幅に減少した。

■海外営業利益 (百万円)



※その他はタイ、ベトナム。
※海外営業利益は海外グループ各社の単純合算営業利益を用いて算出。

Ⅰ．2026年3月期2Qキャッシュ・フローの状況

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結 (累計期間)	2025年3月期2Q		**2026年3月期2Q**	
	金額 (億円)	対前年同期 増減額 (億円)	**金額 (億円)**	**対前年同期 増減額 (億円)**
営業 キャッシュ・フロー	21.1	-2.1	**16.0**	**-5.0**
投資 キャッシュ・フロー	-19.0	-10.9	**-10.7**	**+8.2**
財務 キャッシュ・フロー	14.4	+20.0	**-10.6**	**-25.0**
現金及び現金同等物 増減額	16.9	+7.0	**-5.4**	**-22.3**
現金及び現金同等物 期首残高	62.4	+3.5	**81.4**	**+18.9**
現金及び現金同等物 中間期末残高	79.3	+10.6	**76.0**	**-3.3**

営業CF 減少

▼

税金等調整前当期純利益が
増加したものの、仕入債務の
増減額の減少等により減少した

投資CF 増加

▼

有形固定資産の取得による
支出の減少等により増加した

財務CF 減少

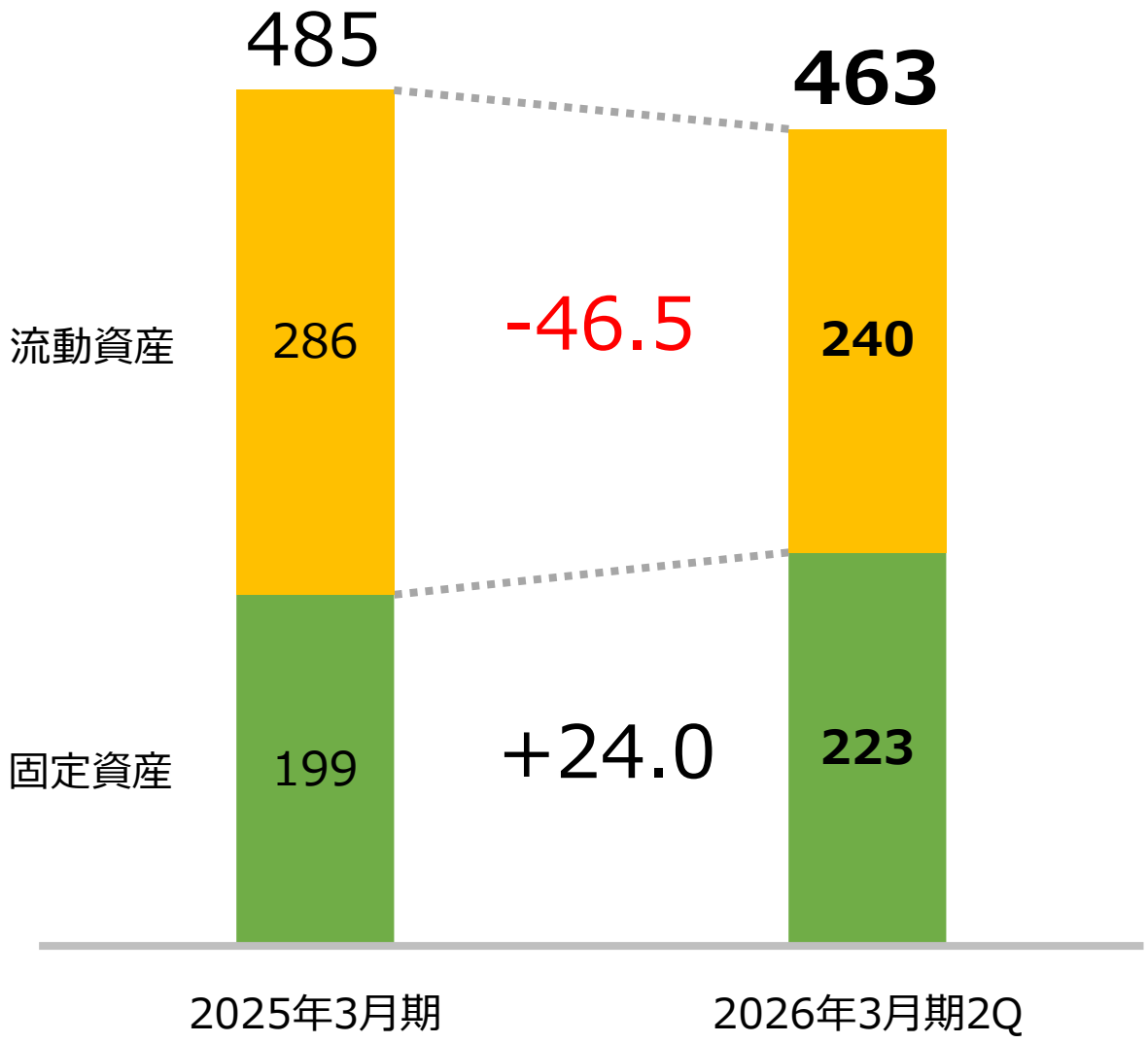
▼

長期借入れによる収入の
減少等により減少した

Ⅰ．2026年3月期2Q資産の部

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■資産の部（億円）



■主な変動要因

流動資産	-46.5
受取手形・完成工事未収入金等	-52.3
棚卸資産	+11.9
固定資産	+24.0
建物及び構築物（純額）	+7.9
土地	+1.9
建設仮勘定	-6.0
投資有価証券	+20.6

受取手形・完成工事未収入金等
170億　⇒　118億

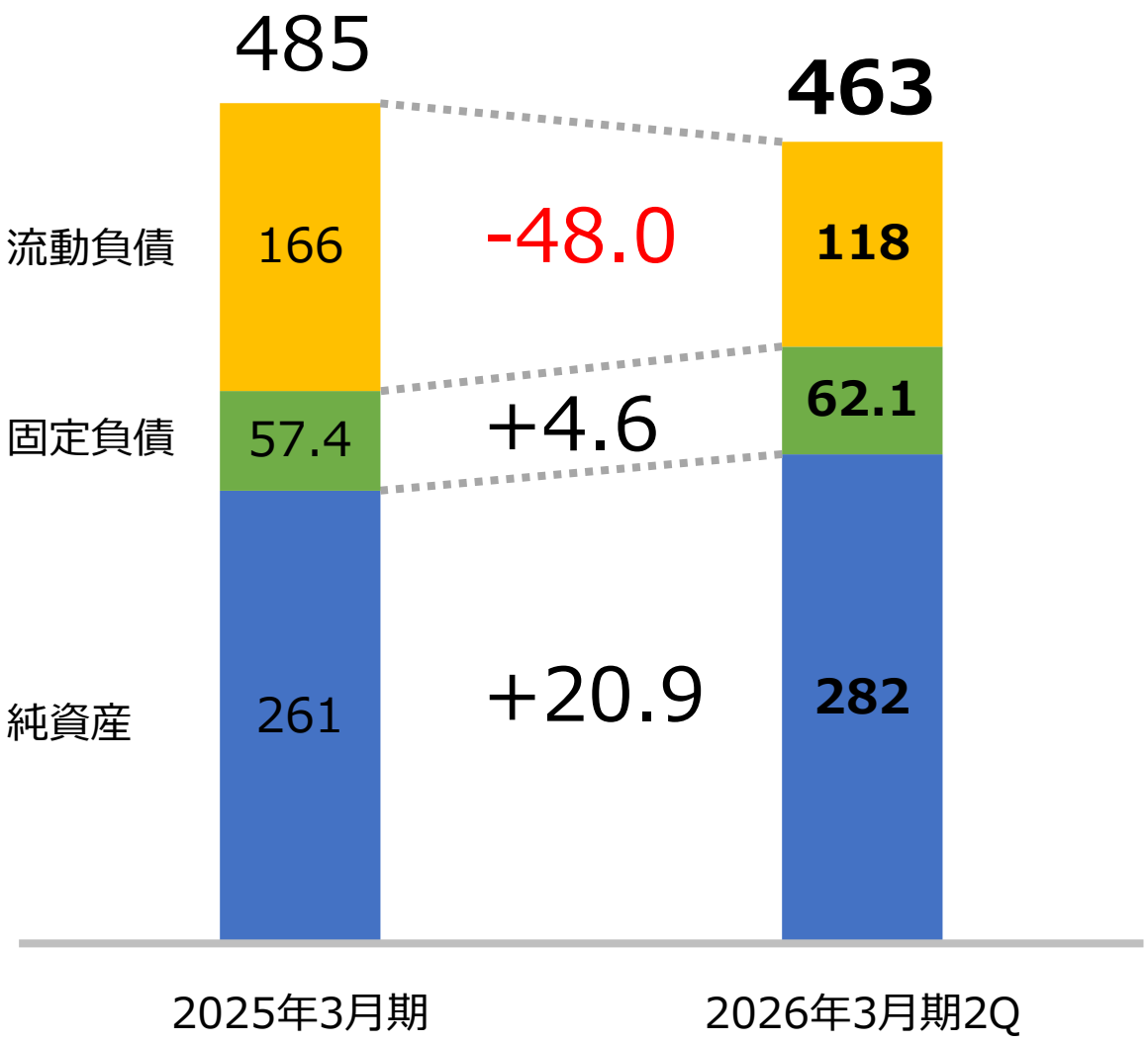
▼

年度末に完成が集中することで増加した
債権を、今期回収したことにより減少

Ⅰ．2026年3月期2Q負債・純資産の部

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■負債・純資産の部（億円）



■主な変動要因

流動負債	-48.0
支払手形・工事未払金等	-25.7
未払費用	-12.7
固定負債	+4.6
長期借入金	-1.5
その他	+5.8
純資産	+20.9
その他有価証券評価差額金	+14.0
利益剰余金	+7.1

支払手形・工事未払金等
63.6億　⇒　37.8億

▼

年度末に完成が集中することで増加した
債務を、今期支払ったことにより減少

Contents

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅰ. 2026年3月期2Q 決算の概要 p.06-p.19

Ⅱ. 2024中期5ヵ年経営計画 p.20-p.27

Ⅲ. 株主還元 p.28-p.31

Ⅳ. 補足資料 p.32-p.42

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

PURPOSE

お客様の事業活動のサステナビリティに寄与し、社会全体の価値向上を図る

MISSION

お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、

技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する

VISION

サステナブルな全てのステークホルダーの幸せ向上

VALUE

人的資本の価値向上によるサステナブルな付加価値創出と還元

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

VALUE　人的資本の価値向上によるサステナブルな付加価値創出と還元

01　最大の財産である従業員のパフォーマンスを最大化させるエンゲージメントの向上

▶ **社員エンゲージメントスコア70pt以上の維持**を目指す。

✓ **2025.03（実績）　社員エンゲージメントスコア　72.0pt**

※社員エンゲージメントスコア…従来の満足度（仕事内容や組織、待遇にどの程度満足しているか）に対し、エンゲージメント（組織や仕事に対し貢献意識を持ち、主体的に参加しているか）の計測を目的としたKPI。

02　高品質サービスの中核となる従業員の技術力を向上させるためのコア技術力指数の向上

▶ **コア技術力指数CAGR 3%以上**を目指す。

✓ **2025.03（実績）　コア技術力指数CAGR　0.7%**

※コア技術力指数…従来の技術力指数（技術系公的資格取得数×資格点数÷技術系従業員数）から、より本業の成長と相関が高いと考えられる公的資格にて再構築したKPI。

03　特殊な環境を有する施設を中心とした、事業活動のサステナビリティ向上を目指すお客様への傾注

▶ **特殊な環境を有する施設と一般的な施設の売上高比率**は**7：3を目安**とする。

✓ **2025.03（実績）　特殊な環境を有する施設売上高比率　74.4%**

※特殊な環境を有する施設…「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」。

04　お客様の事業活動のサステナビリティを向上させるための省エネ提案の強化

▶ お客様の事業活動における**温室効果ガス排出量の削減（年間10,000t-CO_2以上）**を目指す。

✓ **2025.03（実績）　温室効果ガス排出量の削減　14,481.67t-CO_2**

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

VALUE　人的資本の価値向上によるサステナブルな付加価値創出と還元

05　事業活動のサステナビリティを向上させるための海外事業の拡大と強化

▶ **海外売上高35億円、海外営業利益1.75億円（海外営業利益率5%）の達成**を目指す。

✓ **2025.03（実績）　海外売上高　22.4億円、海外営業利益　-0.15億円（海外営業利益率　-0.7%）**

06　サステナブルな全てのステークホルダーの幸せ向上を達成するための利益水準の維持

▶ 売上高の持続的な成長を前提に、本計画期間中の**平均営業利益率6%程度の維持**を目指す。

✓ **2025.03（実績）　営業利益率　6.5%**

07　企業価値創造に必要となる資本コストを上回る資本生産性の維持

▶ 8%程度の株主資本コストを上回る、本計画期間中の**平均ROE10%程度の維持**を目指す。

✓ **2025.03（実績）　ROE　12.5%**

※株主資本コスト…投資家との対話等から想定。

08　サステナブルな株主還元の実施

▶ **1株当たり年間配当金の下限40円、配当性向50%程度、純資産配当率5%程度を目安とした持続的な利益還元**を目指す。

✓ **2025.03（実績）　1株当たり年間配当金　45.00円、配当性向　50.0%、純資産配当率　6.3%**

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

初年度は競争環境の緩和や採算性の良い案件の獲得、高品質サービスの提供を前提とした適正価格での受注等が奏功したことで売上高が拡大し、人件費増加等を吸収して利益を確保することができた。

KPI	2025.03（実績）	2029.03（目標）	達成率
売上高	64,438 百万円	74,000 百万円	87.1%
営業利益	4,191 百万円	4,300 百万円	97.5%
期間平均営業利益率	6.5 %	6.0 %程度維持	
経常利益	4,373 百万円	4,500 百万円	97.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,102 百万円	3,200 百万円	97.0%
EPS	89.98 円	93.00 円	96.8%
期間平均ROE	12.5 %	10.0 %程度維持	

KPI	2025.03（実績）	2029.03（目標）	達成率
特殊な環境を有する施設売上高比率	74.4 %	70.0 %程度	
海外営業利益	-0.15 億円	1.75 億円	-8.7%
社員エンゲージメントスコア	72.0 Pt	70.0 pt以上維持	
コア技術力指数CAGR	0.7 %	3.0 %以上	
配当性向	50.0 %	50.0 %程度	
1株当たり年間配当金	45.00 円	46.00 円程度	97.8%
純資産配当率	6.3 %	5.0 %程度	

※KPIの1株当たり年間配当金…EPS×配当性向で算出（配当金額をコミットするものではない）。
※温室効果ガス排出量削減（年間10,000t-CO_2以上）のKPI…サステナビリティに関する指標として別途管理。

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

企業価値拡大の要となる**「人的資本の価値向上」の加速**を目的とした技術・研修センターが2024年11月に竣工。**2025年4月**より本格稼働を開始し、新入社員・既存社員向けの研修を随時実施。

所在地	愛知県名古屋市南区
竣工	2024年11月
稼働開始	2025年4月
延床面積	4,184.70m²
規模	地上5階建て
目的	企業価値拡大の要となる「人的資本の価値向上」の加速

▲▼2025年4月実施の新入社員研修の様子

▶技術・研修センターの役割

- クリーンルーム・機械室等のメンテナンス現場を再現した研修設備を設置
- 新入社員向けとして、実機を用いた空調ほか設備基礎研修等を実施
- 既存社員向けとして、実機を用いた設備能力診断研修や各種資格取得に関する研修等を実施
- 環境管理部（環境分析〔理化学・放射線〕、微生物検査、作業環境測定、研究開発等）等を移管

2029年3月期に向けたVISION

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

▶正しい道に沿って人的資本を核とした成長を続け、企業価値の拡大を実現させる

売上高：740億円

EPS：93円

良質なサービスを
適正な価格で提供

営業利益率：6%

従業員純増数：250~300名

研修施設の活用による**生産性の向上**

企業価値拡大に資する**ガバナンス**
フェアにやるという**企業風土**

ROE：10%

株主資本コスト：6~8%

価値創造体質

人的資本

成長投資

還元

内部留保

正のエクイティスプレッド創出
▼
企業価値拡大

正のエクイティスプレッド：2~4%

時価総額：500億円

人的資本の拡充と
エンゲージメントの向上

社員ｴﾝｹﾞｰｼﾞﾒﾝﾄｽｺｱ：70pt

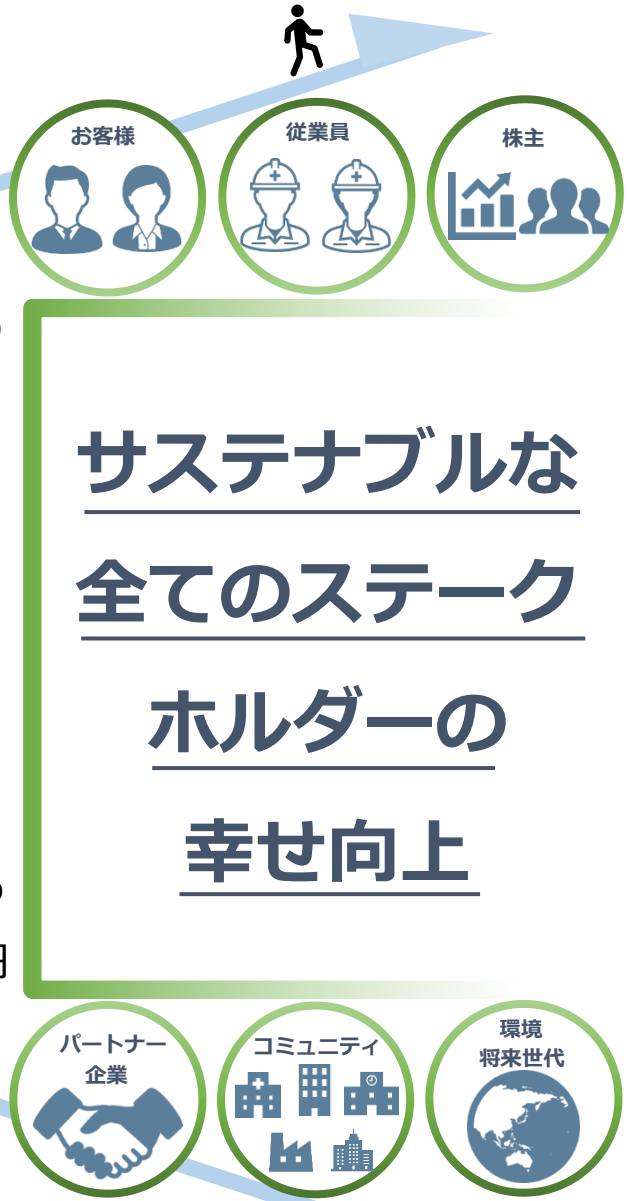
コア技術力指数CAGR：3%

本業での利益拡大を
前提とした**安定的で**
持続可能な利益還元

DOE：5%

配当性向：50%

企業価値拡大に資する**ガバナンス**
フェアにやるという**企業風土**



© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

いき、続けるために。

やるべきことをやる。

本業の競争優位性を高め、

お客様の事業活動の**サステナビリティ**に寄与する

Contents

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅰ. 2026年3月期2Q 決算の概要 p.06-p.19

Ⅱ. 2024中期5ヵ年経営計画 p.20-p.27

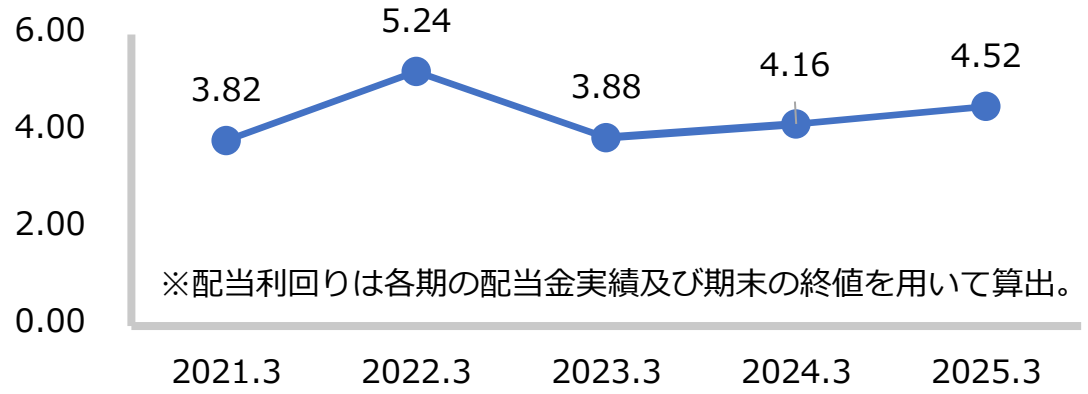
Ⅲ. 株主還元 p.28-p.31

Ⅳ. 補足資料 p.32-p.42

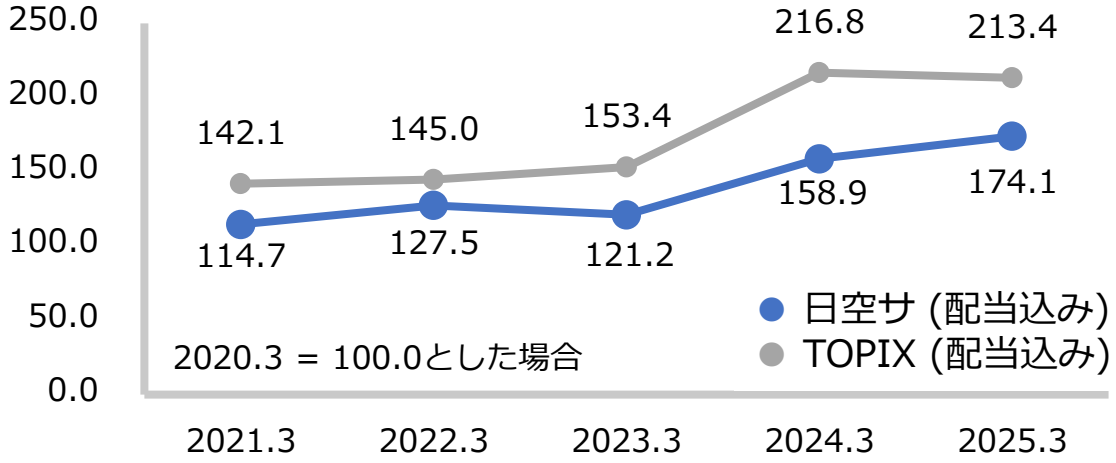
© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

株式情報	
株価	1,237円
時価総額	442億円
配当金	1株当たり46.00円
配当性向	50.5%
配当利回り	3.72%
株主数	28,596名
PER	13.58倍 (EPS：91.10円)
PBR	1.66倍 (BPS：746.33円)
ROE	12.5%

■配当利回り (%)



■株主総利回り (%)

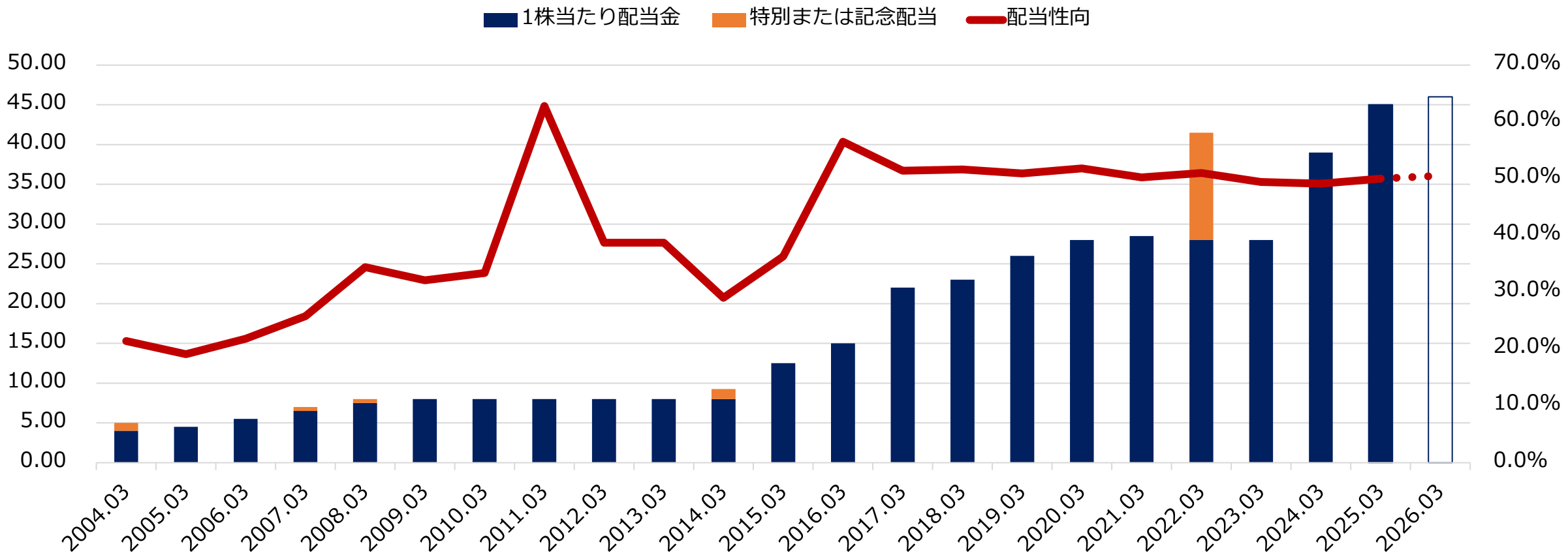


※株価は2025年11月4日時点、配当金・EPSは2026年3月期予想、株主数は2025年9月末時点、BPS・ROEは2025年3月期実績。
※時価総額は2026年3月期2Q発行済株式数(自己株式を含む)を用いて算出。

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

2026年3月期は、1株当たり46円（中間配当23円、期末配当23円）の年間配当を実施予定。
また、当社株式の認知度及び魅力向上や流動性改善を目的とし、2025年9月より株主優待制度の導入を開始。

■1株当たり配当金及び配当性向の推移（円、%）



※1株当たり配当金…2014年4月、2016年4月に実施した普通株式1株につき2株の株式分割を調整。
※特別または記念配当…2004.03（1.00円）、2007.03（0.50円）、2008.03（0.50円）、2014.03（1.25円）、2022.03（13.50円）に実施。

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

本業の持続的な成長による利益拡大

▼

「安定的で持続可能な利益還元」

▼

2024中期5ヵ年経営計画期間中、**1株当たりの年間配当金の下限を40円**に設定し、同時に**連結配当性向の目途を50%程度**、**純資産配当率の目安を5%程度**とすることで、持続的な利益還元を目指す。

持続的な還元

- **1株当たりの年間配当金下限を40円に設定**
- **ROEの水準10%程度の維持**
- **連結配当性向の目途50%程度の維持**
- **純資産配当率の水準5%程度を目安**

Contents

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅰ. 2026年3月期2Q 決算の概要 p.06-p.19

Ⅱ. 2024中期5ヵ年経営計画 p.20-p.27

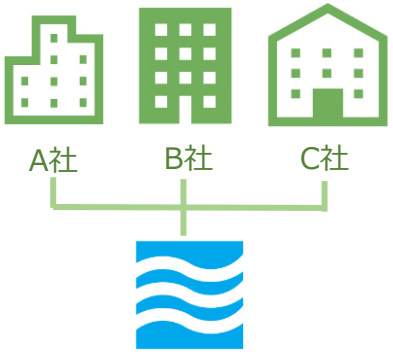
Ⅲ. 株主還元 p.28-p.31

Ⅳ. 補足資料 p.32-p.42

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

①高度な技術力

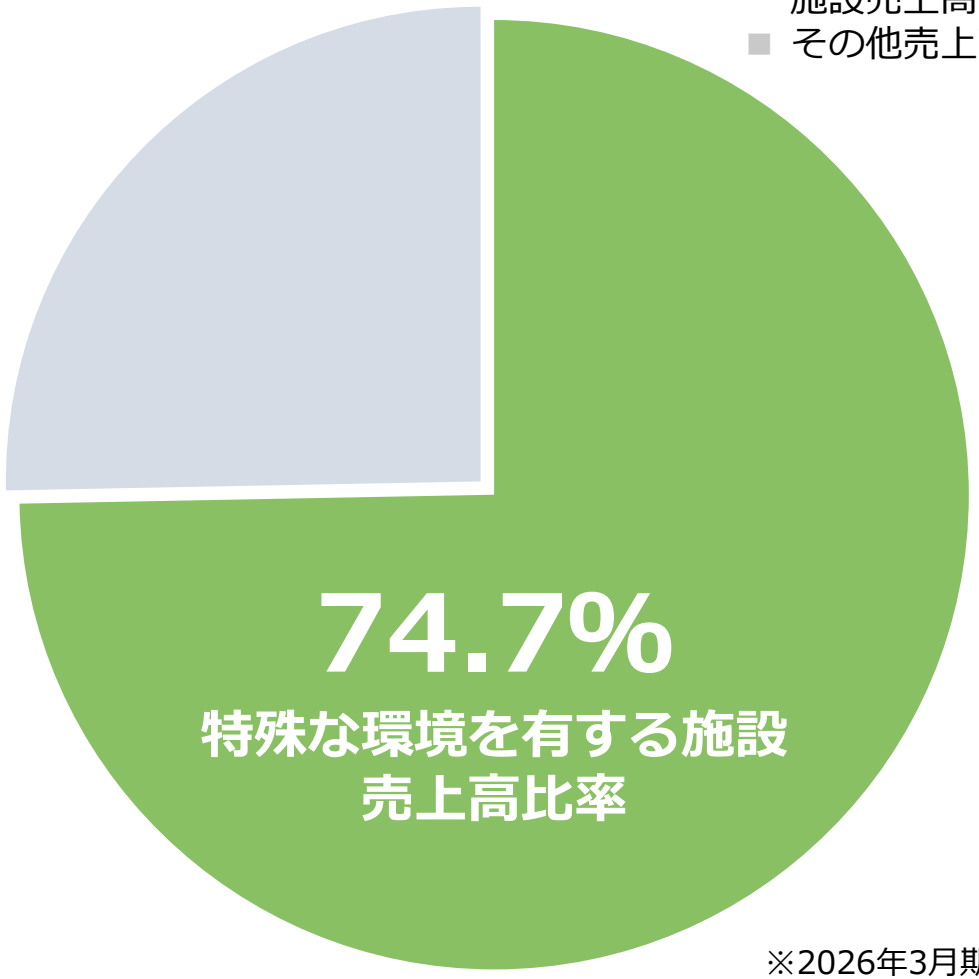
②メーカーフリー



③サービスネットワーク

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■特殊な環境を有する施設売上高比率（%）



※2026年3月期2Q実績

シビアな環境を要求される

病院や製造工場等では

維持管理に高度な技術力が必要

▼

①同業他社の参入障壁が高い

②スイッチング(切替)コスト及び

サーチ(探す)コストが高い

③需給両面での障壁を築く戦略

※特殊な環境を有する施設は「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」。
※高度な技術力とは、様々な問題点への迅速な対応力と早期改善提案力及び遂行力の高次元維持を指す。

Ⅳ．①高度な技術力(病院での業務例)

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

中央監視業務

日常測定業務

定期メンテナンス業務

＋

ソリューション提案

環境診断業務

消毒・除染業務

こんな環境にできないか？

どうすれば改善できるか？

▼

お客様との対話を通じて

ニーズを引き出し

「付加価値向上をサポート」

▼

ESG(環境)の観点から

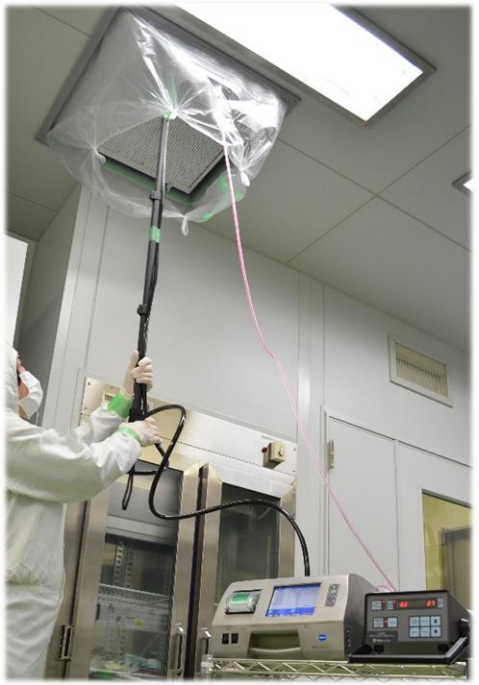
お客様の事業活動の

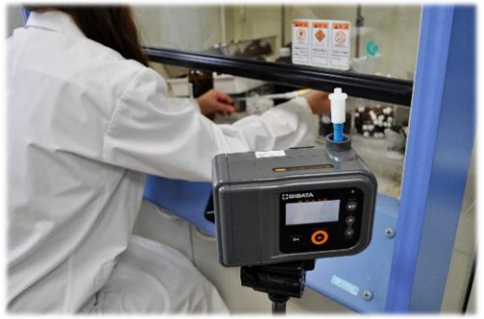
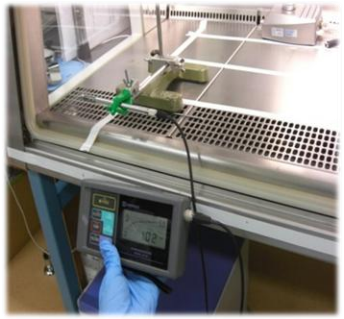
サステナビリティに繋がる

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

一般的な設備維持管理以外にも、以下のような**技術力**が要求されます

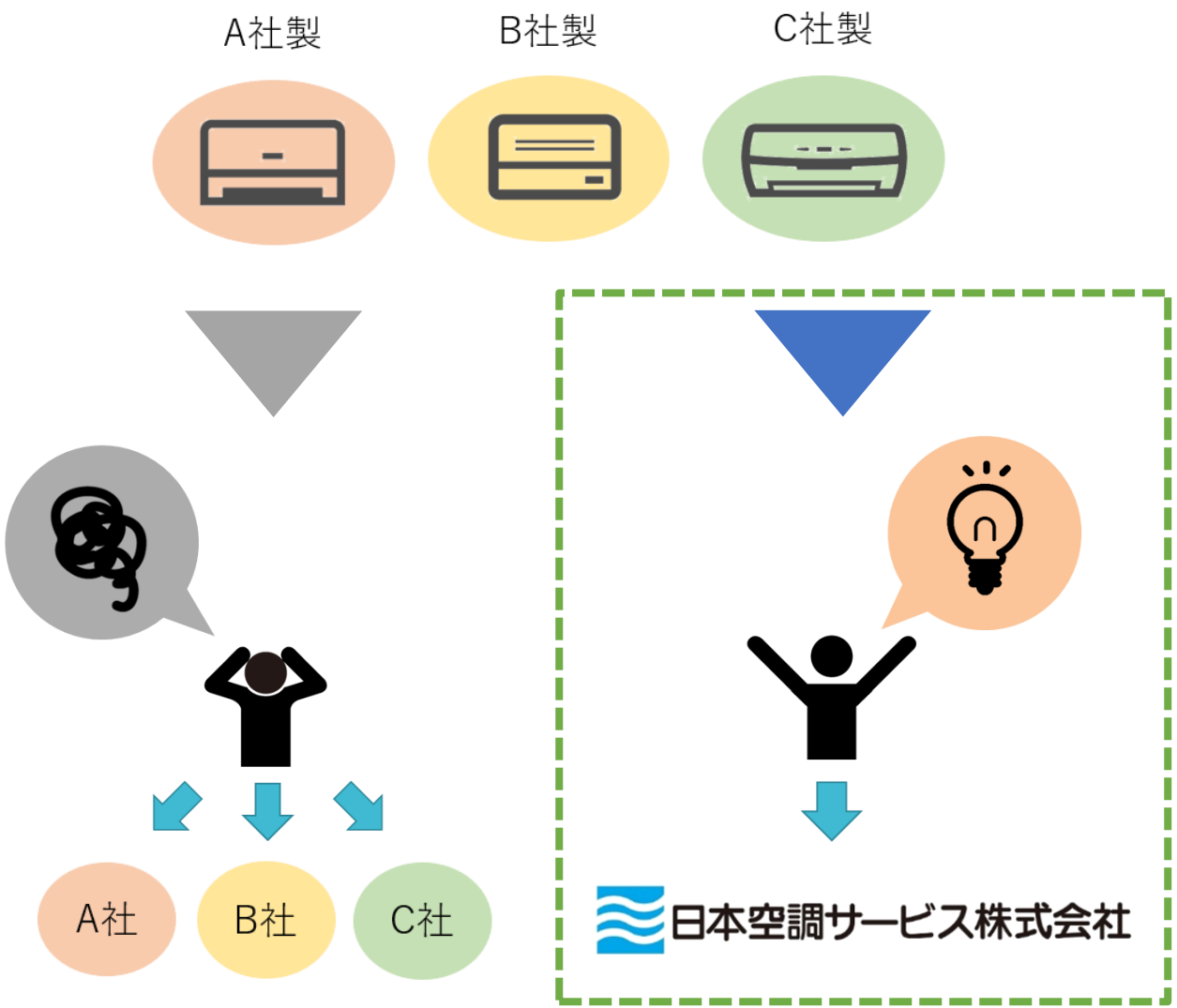


※写真は環境性能測定・診断、クリーン機器メンテナンス、環境衛生管理、高性能フィルタメンテナンス、作業環境測定、安全キャビネット性能点検・除染・滅菌・清掃、作業環境改善対策等。

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

顧客施設内の多種多様な設備



①独立系企業のため
　メーカーの制約を受けない
②技術力を有する従業員で
　迅速な自社対応が可能

▼

①お客様に提供するサービスの
柔軟性と多様性により
最適な環境づくりをサポート
②顧客設備担当者の負担軽減

Ⅳ．③サービスネットワーク

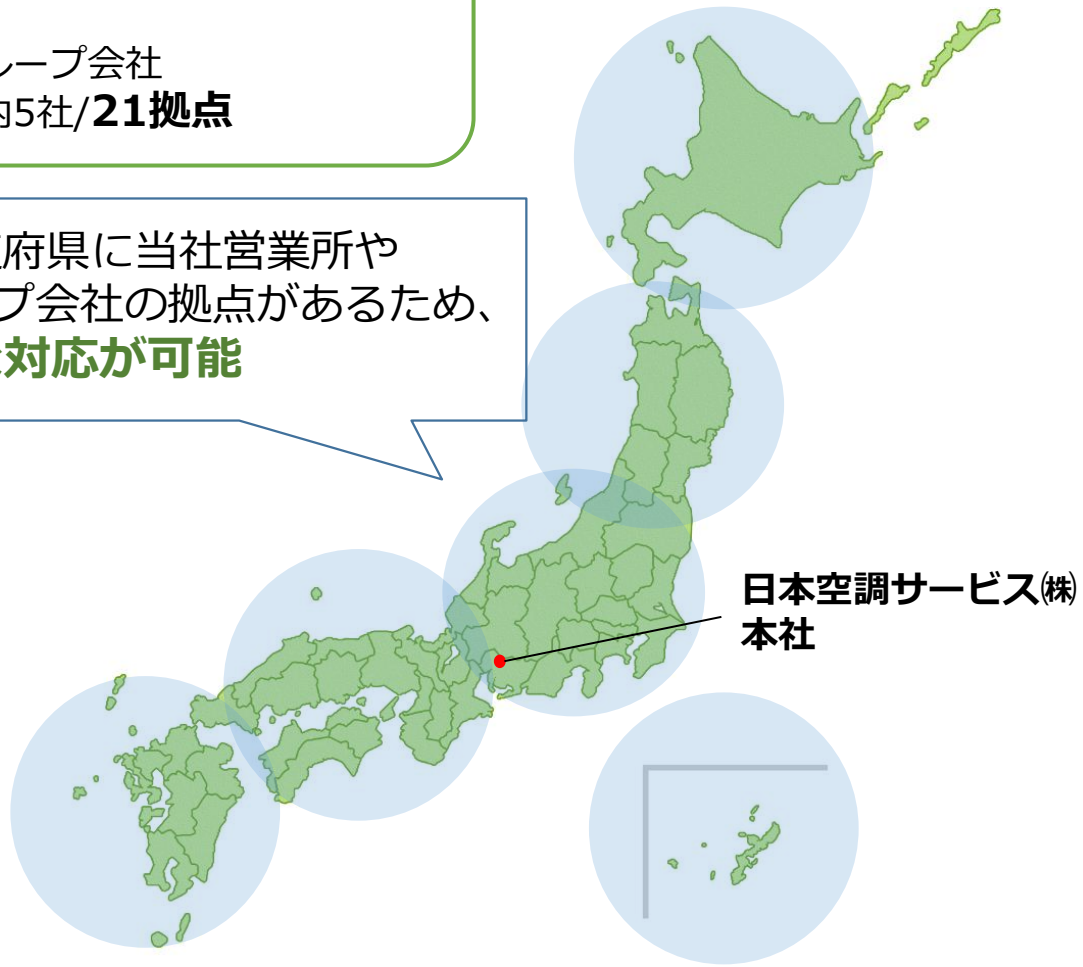
© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

○日本空調サービス㈱
本社・支店・営業所/**68拠点**

○グループ会社
国内5社/**21拠点**

47都道府県に当社営業所や
グループ会社の拠点があるため、
迅速な対応が可能

日本



※拠点数(住所ベース)は2025年10月31日時点。

海外

○中国
- 蘇州日空山陽機電技術有限公司（連結子会社）
- 上海日空山陽国際貿易有限公司（連結子会社）

○シンガポール
- Evar Air-conditioning & Engineering Pte Ltd（連結子会社）
- NACS Singapore Pte. Ltd.（連結子会社）

○ベトナム
- NACS ENGINEERING VIETNAM CO., LTD.（連結子会社）

○タイ
- NACS KUCHO(THAILAND) CO., LTD.（連結子会社）

○ミャンマー
- NACS Engineering Myanmar Co., Ltd.（連結子会社）

○バングラデシュ
- NACS BD Co., Ltd.（非連結子会社）

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

日本国内の空調・熱源システム市場は

2.5兆円程度と推定

▼

そのうちメンテナンスの主戦場となる既設案件は65%程度

▼

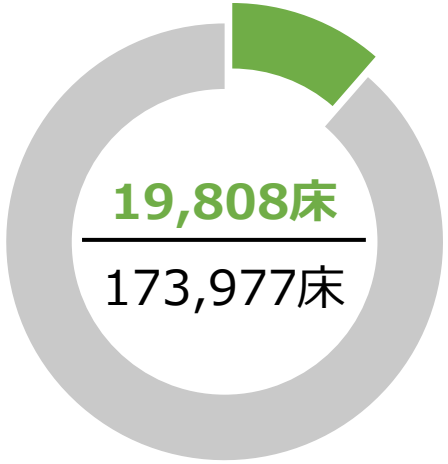
当社がターゲットとする主な市場は

1.6兆円程度と推測

※富士経済「HVAC機器・関連ビジネス市場の全容 2024」より、「空調 施工エンジニアリング市場」及び「空調 保守メンテナンス市場」の2023年実績値を基に算出。

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■600床以上の病院における受託割合

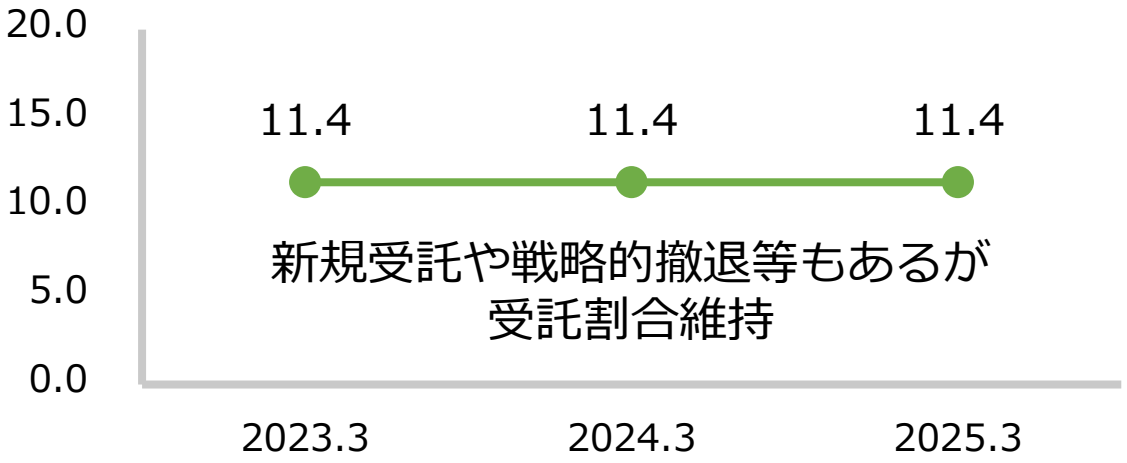


当社
その他

11.4%

病床数ベース
(2025年3月末時点)

■同受託割合推移 (%)



特殊な環境を有する施設における
長年の実績をベースとした
大規模病院の施設維持管理に強み

▼

統括管理・環境性能維持

▼

施設の安定稼働と省エネの
両立による施設運営最適化を実現させる

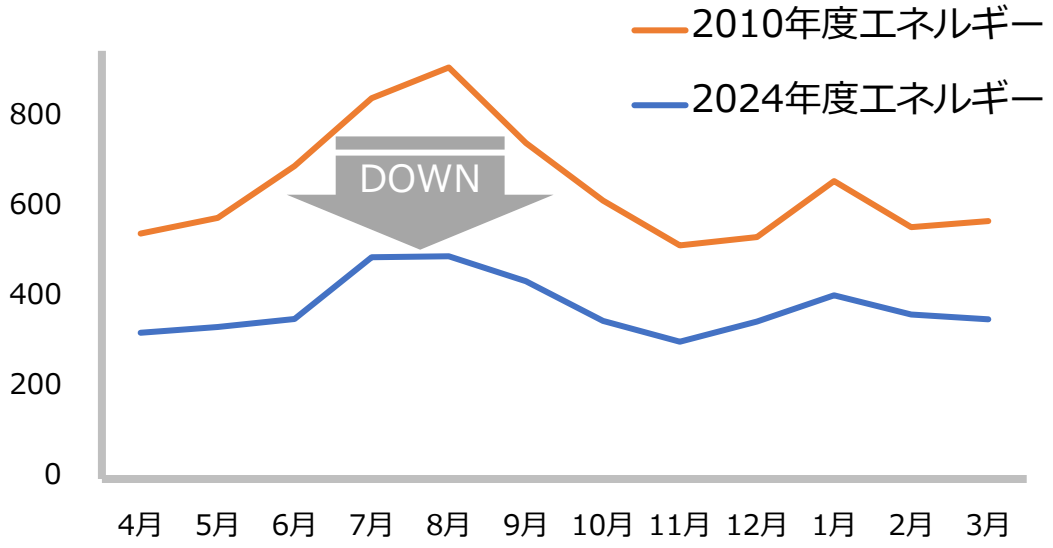
※受託割合は厚生労働省「医療施設動態調査」を用いて算出。

Ⅳ．病院における省エネ実績（一例）のご紹介

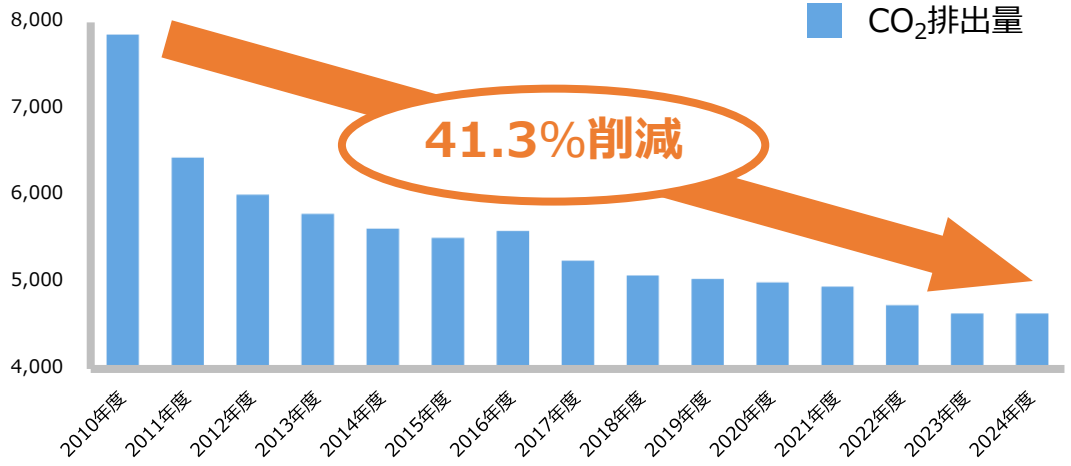
Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

■年間エネルギー推移（t-CO_2）



■年度別エネルギー推移（t-CO_2）



東京都内にある

中規模病院（450床規模）での事例

延床面積：約48,000㎡

▼

徹底的な現場把握ときめ細かな運営管理を

継続することにより、大幅な省エネに成功

病院は院内環境の最適化を

最優先に考える必要がある

▼

設備管理の視点から

設備稼働における「余分」を発見し、

その「余分」にアプローチしていくことで、

当社独自の視点による省エネを実現する

Ⅳ．新技術の開発による特許取得

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

特許1つ目（2023年4月）

安全かつ効率的に

作業を行える

微生物除染手法

より安全に

特許2つ目（2023年11月）

酢酸と**オキシドール**を用いた

（低濃度の酢酸）（低濃度の過酸化水素溶液）

劇物を使用しない、

より安全な**微生物除染手法**

より簡便に

特許3つ目（2025年9月）

酢酸とオキシドールの混液を用いた

（低濃度の酢酸）　（低濃度の過酸化水素溶液）

劇物を使用しない、

安全かつ簡便な**微生物除染手法**

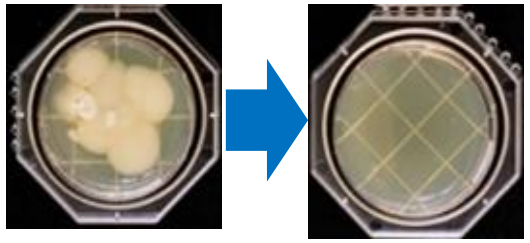
医薬・医療関連研究施設

大規模病院

医薬工場

食品・飲料工場

etc.



Disclaimer

© 2025 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd. All Rights Reserved.

本資料は、日本空調サービス株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる内容の更新・修正を行う義務を負うものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に記載の数値は、別途注記がある場合を除き、全て連結で表記しております。

本資料は、提供されましたご本人様限りでご利用ください。本資料のいかなる部分についても一切の権利は当社に帰属しており、電子的もしくは機械的にまたはその他の方法を問わず、本資料の全部または一部を、無断で引用、複製または転送等により使用しないようお願いします。

ステークホルダーの皆様に

ヨ ロ コ バ

４６５８れる企業を目指します。

IR Div.	経営企画部
Phone	052-773-2875
E-mail	ir4658@nikku.co.jp
Website	www.nikku.co.jp

IRメール配信のご登録はこちらから

当社の強み紹介動画ご視聴はこちらから